

(暫定版)

## アセタミプリド (案)

1. 品目名：アセタミプリド (acetamiprid)

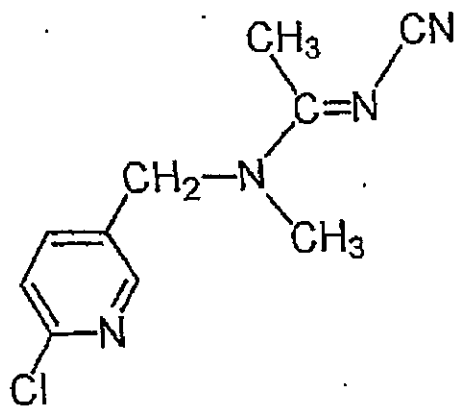
2. 用途：殺虫剤

ネオニコチノイド系の殺虫剤である。作用機構は、昆虫神経のシナプス後膜のニコチン性アセチルコリン受容体に作用し、シナプス伝達の遮断を起こし殺虫活性を示すとされる。

3. 化学名：

(E)-*N*^1- [(6-chloro-3pyridyl)methyl] -*N*^2-cyano-*N*-methylethanimidamide (IUPAC)(E)-*N*^1- [(6-chloro-3pyridinyl)methyl] -*N*-cyano-*N*-methylethanimidamide (CAS)

4. 構造式及び物性



分子式	C <sub>10</sub> H <sub>11</sub> ClN <sub>4</sub>
分子量	222.68
水溶解度	4.25g/L (25°C)
分配係数	log <sub>10</sub> P <sub>ow</sub> =6.27 (25°C)

(メーカー提出資料より)

5. 適用害虫の範囲及び使用方法

本薬の適用害虫の範囲及び使用法は以下のとおり。

なお、今回の基準値の設定に合わせ、一部で使用方法等の適用の見直しと剤型の追加申請がされている。

(1) 【モスピラン水溶剤(アセプロト 20%)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセプロトを含む農薬の総使用回数
かんきつ	アブラムシ類	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
	ミカンホモグリガ						
	アザミヤカ類						
	コナカイガラムシ類						
	ゴマダラカミキ成虫						
	ヤノネカイガラムシ						
	コオナメグリ						
	ケキスイ類						
	アゲハ類						
	カメムシ類						
	アカマルカイガラムシ						
	ロウムシ類	4000倍					
	コナジラミ類						
		ゴマダラカミキ	200～400倍	30～75L/10a			主幹から株元に散布
りんご	アブラムシ類	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	キンモンホモグリガ						
	キンモンホリガ						
	シンクイムシ類						
	カメムシ類						
	リンゴワタムシ	4000倍					
	クワコカイガラムシ						
	モモチョッキリゾウムシ						
なし	カメムシ類	2000～4000倍			2回以内	2回以内	
	アブラムシ類						
	シンクイムシ類						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アピミクトを含む農薬の総使用回数
もも	クロコカイラムシ	2000倍			3回以内		3回以内
	カキノヒメヨコバイ						
	アブラムシ類						
	モモハモグリガ						
	シクイムシ類						
	ミカンキイロアザミマ						
	カメムシ類						
コスカハ							
ネタリン	アブラムシ類	4000倍	200～700L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
	モモハモグリガ						
	シクイムシ類						
	ミカンキイロアザミマ						
	カメムシ類						
ぶどう	コナカイラムシ類	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
	チャノキイロアザミマ						
	フタテンヒメヨコバイ						
	ツマグロアオカスシメ	2000倍		収穫後秋期			
	ブドウトラカミキリ						
かき	カキクダアザミマ	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
	チャノキイロアザミマ						
	アジコナカイラムシ						
	カキノハタムシガ						
	カキノヒメヨコバイ						
	カメムシ類						
小粒核果類(すももを除く)	アブラムシ類				2回以内		2回以内
びわ				収穫前日	3回以内		3回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチルリンを含む農薬の総使用回数
いちじく	かきりん類	2000倍	400L/10a	まで	2回以内		
	アザミヤマ類						
	柿シメキ						
	アジコカバラムシ						
かりん	ナヒメシクイ			収穫14日前まで	2回以内		2回以内
とうもろこし	アブラムシ類	2000~4000倍	100~300L/10a	収穫7日前まで	3回以内		4回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内)
ばれいしょ	テントウムシガメシ	2000~6000倍					
	アブラムシ類						
やまのいも	アザミヤマ類	4000倍			種芋掘取り7日前まで	5回以内	
やまのいも(種芋栽培)	アブラムシ類			収穫21日前まで	3回以内		3回以内
やまのいも(むかご)	アブラムシ類						
	アザミヤマ類						
すもも	アブラムシ類	2000~4000倍	200~700L/10a	収穫7日前まで	3回以内		
	シクイムシ類	4000倍					
さんしょう(葉)	チャノキイロアザミヤマ	4000倍	100~300L/10a	収穫45日前まで	6回以内	散布	6回以内
	アブラムシ類						
さんしょう(果実)	チャノキイロアザミヤマ	200倍	20L/10a	収穫7日前まで	1回	樹幹散布	4回以内(散布は1回以内、樹幹散布は3回以内)
	アブラムシ類						
	ゴマダラカミキリ幼虫						
おうとう	カミムシ類	2000~4000倍	200~700L/10a	収穫3日前まで	1回	散布	1回
	オウトウショウジヨウ						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アピミクトを含む農薬の総使用回数			
	ハエ									
えだまめ	アブラムシ類	4000倍	100～ 300L/10a	収穫7日前まで	3回以内		4回以内(は種時の土壌混和は1回以内、は種後は3回以内)			
	コナジラミ類									
	アザミヤカ類									
あずき	アブラムシ類			収穫21日前まで						
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどうを除く)	アブラムシ類	4000倍					収穫7日前まで			3回以内
	コナジラミ類									
さやいんげん	アブラムシ類	2000～4000倍								
さやえんどう	コナジラミ類	4000倍								
	アザミヤカ類									
きゅうり	コナジラミ類	2000倍					収穫前日まで			5回以内(定植時の株元散布は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
	シキイロアザミヤカ									
	ウリメイト	2000～4000倍								
	アブラムシ類									
すいか	シキイロアザミヤカ	2000～4000倍					4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)			
	アブラムシ類									
	ウリメイト	2000倍		収穫3日前まで						
	コナジラミ類									

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチアクトを含む農薬の総使用回数			
メロン	アブラムシ類	8000 倍	100～ 300L/10a	収穫 3 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内			
うり類 (漬物用)	アザミヤカ類	2000～4000 倍								
トマト	アブラムシ類	2000 倍					2 回以内	3 回以内(定植時の土壌混和は 1 回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計 2 回以内)		
	コナジラミ類									
	ヒラズハアザミヤカ									
ミニトマト	アブラムシ類									
	コナジラミ類									
	ヒラズハアザミヤカ									
なす	アブラムシ類	4000 倍						収穫前日 まで	3 回以内	4 回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計 1 回以内、散布及びくん煙は合計 3 回以内)
	シキイロアザミヤカ									
ピーマン	アブラムシ類		2 回以内			3 回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計 1 回以内、散布及びくん煙は合計 2 回以内)				
	アザミヤカ類									
	コナジラミ類									
とうがらし類	アブラムシ類	8000 倍			2 回以内	2 回以内				
キャベツ	コガ	1000～2000 倍						収穫 7 日 前まで	5 回以内	6 回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計 1 回以内、散布は 5 回以内)
	アオムシ									
	アブラムシ類	2000～4000 倍								
ブロッコリー	コガ	2000 倍			収穫 14 日 前まで	3 回以内		4 回以内(粒剤の株元散布及		
	アオムシ									

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチリドを含む農薬の総使用回数				
	アブラムシ類										
はくさい	コカガ	1000~2000倍	100~300L/10a		1回	散布	び土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)				
	アオムシ	2000~4000倍									
だいこん	アブラムシ類	2000~4000倍									
	コカガ	2000倍									
	アオムシ										
キジノミハムシ	2000~4000倍										
わさびだいこん	コカガ	2000倍						収穫7日前まで	1回		1回
はつかだいこん	アブラムシ類	2000~4000倍						収穫14日前まで			
かぶ	キジノミハムシ	2000倍						収穫21日前まで			
	アブラムシ類										
非結球あぶらな科葉菜類	キジノミハムシ	4000倍	収穫7日前まで		チンゲンサイは2回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は1回以内)、チンゲンサイ以外は1回						
なばな類	アブラムシ類	2000~4000倍	収穫14日前まで		1回						
いちご	アブラムシ類				2回以内	3回以内	3回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)				
	コナジラミ類	2000倍	収穫前日まで								
	ヒラズハアザミマ										
	ミカンキイロアザミマ										
つるな	アブラムシ類	4000~8000倍	収穫14日前まで								
バジル		8000倍	収穫21日前まで								

作物名	適用病虫害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アピクトを含む農薬の総使用回数		
レモンハム		4000～8000倍		収穫14日前まで					
はっか		8000倍		収穫7日前まで					
セージ		4000～8000倍		収穫21日前まで					
パセリ		8000倍		収穫3日前まで				1回	1回
茎ブロッコリー		4000倍		収穫前日まで				2回以内	2回以内
キャハツ		2000倍		収穫7日前まで				1回	1回
非結球キャハツ				2回以内				2回以内	2回以内
食用さくら(葉)	アザミウマ類	4000倍	500L/10a	収穫3日前まで	1回		1回		
あけび(果実)	アブラムシ類			収穫7日前まで	2回以内		2回以内		
たまねぎ	ネアザミウマ	2000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内		3回以内		
ねぎ	ネアザミウマ	2000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は合計1回以内)		
わけぎ	アザミウマ類						3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和は1回以内)		
あさつき	アザミウマ類						3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和は1回以内)		
アスパラガス	アブラムシ類	4000倍		収穫前日まで	2回以内		2回以内		
	コナラミ類								
	ネアザミウマ								
	ジウシキビナ								



作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アタンプリドを含む農薬の総使用回数
	ガハムシ						
レタス	アブラムシ類	2000倍		収穫7日前まで	3回以内		4回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は3回以内)
非結球レタス	アザミヤカ類				1回		2回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は1回以内)
オクラ	アブラムシ類			3回以内	3回以内		
食用ぎく	アザミヤカ類	2000倍		収穫14日前まで	2回以内		2回以内
食用金魚草					1回		1回
食用ブロッコリー				4回以内	4回以内		
食用ゆり	アブラムシ類	4000倍		収穫前日まで	4回以内		4回以内
にら	アザミヤカ類				3回以内		3回以内
てんさい	テンサイトビハムシ テンサイモグリハバエ	200倍	ペーパーポット 1冊当り 1L(3L/m <sup>2</sup> )	定植前	1回	苗床灌注	1回
にがうり	アブラムシ類	4000倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
マンゴー	チャノキイロアザミヤカ	2000倍	300～ 700L/10a	収穫35日前まで			
タイム	アブラムシ類	8000倍	100～ 300L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内
マジョラム				収穫14日前まで			
オレガノ				収穫7日前まで			
茶	チャノミドリヒメコバイ チャノキイロアザミヤカ	2000～4000倍	200～ 400L/10a	摘採14日前まで	1回		1回

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチアリドを含む農薬の総使用回数
	マ						
	チャノホカ						
みつば	チャノホカ	8000倍	100～ 300L/10a	収穫7日前まで			
かぼちゃ	チャノホカ	2000倍		収穫前日まで	2回以内		3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
ブルーベリー	オトウシヨウジヨウバエ	4000倍		1回			1回
ほうれんそう	アブラムシ類	8000倍		収穫3日前まで	2回以内		2回以内
キイフルーツ	クシカカラムシ	2000倍	400L/10a	収穫7日前まで	3回以内		3回以内
カリフラワー	アブラムシ類	4000倍	100～ 300L/10a	収穫14日前まで			
食用ほおずき				収穫7日前まで	2回以内	2回以内	
くきちしゃ							
ふだんそう							
しそ							
ふき	コジラムシ類	3000倍		収穫14日前まで			3回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
らっきょう	ネアサシマ	2000倍			3回以内		3回以内
アセラ	アブラムシ類	4000倍		収穫7日前まで	2回以内		2回以内
パッションフルーツ	コカカラムシ類	2000倍		収穫30日前まで			
しゅんぎく	アブラムシ類	8000倍		収穫14日前まで			
なずな				収穫7日前まで	1回		1回
ははこぐさ							

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチアリドを含む農薬の総使用回数
エンサイ		4000倍			2回以内		2回以内
チャービル		8000倍		収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内
カラゴン	アブラムシ類	4000倍	100～ 300L/10a	収穫14日前まで	2回以内		2回以内
ディル(葉)		8000倍		収穫21日前まで	3回以内		3回以内
モロヘイヤ (適用拡大申請)	コナジラミ類			収穫21日前まで	1回		1回
セロリ (適用拡大申請)	アブラムシ類	4000倍		収穫7日前まで	2回以内		2回以内

(2) 【モスピラン粒剤(アセチアリド 2%)】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチアリドを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コカガ アオムシ	1～2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	6回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は5回以内)
	コカガ アオムシ アブラムシ類	0.5～1g/株	定植前日～定植当日		株元散布	
	ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ	0.5g/株				
	アブラムシ類	1g/株 1～2g/株	定植時		植穴土壌混和	
はくさい	コカガ アオムシ アブラムシ類	0.5g/株	定植前日～定植当日	1回	株元散布	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
	コカガ アオムシ アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和	
	コカガ アオムシ					
	アオムシ					
チンゲンサイ	コカガ アブラムシ類 アオムシ	0.5g/株	定植前日～定植当日	1回	株元散布	2回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は1回以内)
非結球あぶらな科葉菜類(チンゲンサイを除く)	コカガ	3kg/10a	は種時		播溝土壌混和	
	アブラムシ類					
だいこん	コカガ アブラムシ類					
ブロッコリー	コカガ	0.5～1g/株	定植前日～定植当日	1回	株元散布	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
		1～2g/株	定植時		植穴土壌混和	
	アオムシ	1g/株				

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセミプロリトを含む農薬の総使用回数	
	アブラムシ類	0.5~1g/株	定植前日~ 定植当日		株元散布		
		1g/株	定植時		植穴土壌混和		
		0.5~1g/株	定植前日~ 定植当日		株元散布		
ハイマダラメカイ	0.5g/株	定植時	5回以内(定植時の株元散布は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)				
きゅうり	アブラムシ類	0.5g/株	定植後、但し収穫30日前まで		株元散布		
すいか		1g/株	定植時		植穴土壌混和	4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)	
ピーマン	アブラムシ類	0.5g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)	
なす			定植前日~ 定植当日		株元散布		4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
	ミメキイロザミマ	0.5~1g/株	定植時		植穴土壌混和	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)	
トマト	1g/株	コナジラミ類					0.5g/株
	トマトハモグリハエ	アブラムシ類					
ミニトマト	コナジラミ類	1g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)	
	トマトハモグリハエ		0.5g/株	生育期	2回以内		株元散布
いちご	アブラムシ類	0.5~1g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)	
			生育期(定植30日後まで)但しマルチ被覆直前まで		株元散布		
レタス	ナモグリハエ	0.5g/株	定植前日~ 定植当日	1回	株元散布	4回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は3回以内)	
	オオタバコカ						
非結球レタス	アブラムシ類	0.25~ 0.5g/株	定植前日~ 定植当日		株元散布	2回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は1回以内)	
	ナモグリハエ	0.5g/株					
	オオタバコカ						
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6kg/10a	植付時		植溝土壌混和	4回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内)	
わけぎ	ネギアザミマ	6kg/10a	は種時		播溝土壌混和	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和は1回以内)	
	ネギハモグリハエ						

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチリトを含む農薬の総使用回数	
あさつき	ネアサミマ ネハモグリハエ	6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和は1回以内)	
わけぎ	ネアサミマ ネハモグリハエ		植付時		植溝土壌混和		
あさつき	ネアサミマ ネハモグリハエ						
ねぎ	ネアサミマ	0.25~	定植前日~		2回以内	株元散布	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は合計1回以内)
	ネハモグリハエ	0.5g/株	定植当日			播溝土壌混和	
	ネアサミマ	6kg/10a	は種時			植溝土壌混和	
	ネハモグリハエ		植付時				
ぶどう	ブドウネアラムシ	30g/m <sup>2</sup> (但し6kg/10a以下)	収穫14日前まで		樹冠下または主幹周辺に散布	2回以内	
さといも	アラムシ類	3~6kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	1回	
えだまめ	アラムシ類	3kg/10a	は種時		播溝土壌混和	4回以内(は種時の土壌混和は1回以内、は種後は3回以内)	
ひこしまはるな		1g/株	定植時		植穴土壌混和	1回	
ふき	コジラミ類 モモガアラムシ	2g/株	収穫90日前まで			株元散布	3回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
こんにゃく	ワタアラムシ	3kg/10a	培土時(出芽期)			株元土壌混和	1回
かぼちゃ	アラムシ類	1g/株	定植時			植穴土壌混和	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
セロリ		0.5g/株				1回	

(3) 【モスピランジェット(アセチリト 15%)】

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチリトを含む農薬の総使用回数
トマト	温室、ビニールハウス等の密閉できる場所	アラムシ類	くん煙室容積400m <sup>3</sup> (床面積200m <sup>2</sup> ×高さ2m)当り50g	収穫前日まで	3回以内	くん煙	3回以内
きゅうり							コジラミ類
		シキイロアザミマ					
ピーマン		アラムシ類			2回以内		3回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)
すいか		シキイロアザミマ			3回以内		4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
なす	アラムシ類	4回以内(粒剤の株元散布)					

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセミプリドを含む農薬の総使用回数
		シキイロアザミヤ					及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
トマト		コナジラミ類 シキイロアザミヤ			2回以内		3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計2回以内)
ミニトマト		コナジラミ類 シキイロアザミヤ					3回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)
いちご		アブラムシ類					3回以内
みかん				収穫3日前まで	3回以内		3回以内
ズッキーニ				収穫前日まで	2回以内		2回以内
みょうが(花穂)	温室、ビニールハウス等の密閉できる場所	アブラムシ類	くん煙室容積400m <sup>3</sup> (床面積200m <sup>2</sup> ×高さ2m)当り50g	収穫前日まで	3回以内	くん煙、但し花穂の発生期には花穂をマルチフィルム被覆した状態で使用する	3回以内

(4) 【モスピランスプレー(アセミプリド 0.0050%)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセミプリドを含む農薬の総使用回数	
うめ	アブラムシ類	原液	収穫7日前まで	2回以内	希釈せずそのまま散布する	2回以内	
かんきつ			収穫14日前まで	3回以内		3回以内	
きゅうり	シキイロアザミヤ		3回以内	5回以内(定植時の株元散布は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)			
トマト	アブラムシ類		収穫前日まで	2回以内		3回以内	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計2回以内)
	タバココナジラミ類(シルバーリーフコナジラミを含む)						
なす	シキイロアザミヤ		3回以内				4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
	コナジラミ						

(5) 【モスピラン液剤(アセミプリド 2%)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセミプリドを含む農薬の総使用回数
-----	--------	------	------	---------	------	-------------------

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチプリドを含む農薬の総使用回数
かき	かきハダニカ	500倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
うめ	アブラムシ類			2回以内		2回以内
かんきつ				3回以内		3回以内
トマト			収穫前日まで	2回以内		3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計2回以内)
なす				3回以内		4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
きゅうり						5回以内(定植時の株元散布は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
はくさい		アオムシ	250倍	収穫14日前まで	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)	
キャベツ	収穫7日前まで			5回以内	6回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は5回以内)	

(6) 【モスピランSL液剤(アセチプリド 18%)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチプリドを含む農薬の総使用回数
かんきつ	アブラムシ類	4000倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
	ミカンハダニカ						
	ゴアハダニカ						
	ケシキスイ類						
	アカマルカイガラムシ	2000～4000倍					
	ヤノネカイガラムシ						
	アザミウマ類	400倍	30～75L/10a				
	コナカイガラムシ類						
	ゴマクラカミリ成虫						
	カメムシ類						
ゴマクラカミリ	4000～6000倍	300L/10a	100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	主幹から株元に散布	4回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内)
キウイフルーツ							
ばれいしよ	テントウムシガムシ	64倍	3.2L/10a	収穫14日前まで	3回以内	無人ヘリコプターによる散布	3回以内
	アブラムシ類						
とうもろこし(子実)		4000～6000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチアリドを含む農薬の総使用回数	
未成熟とうもろこし		64倍	3.2L/10a			無人ヘリコプターによる散布		
てんさい	テナイトビハムシ	200倍	ペーパーポット1冊当たり1L(3L/m <sup>2</sup> )	定植前	1回	苗床灌注	1回	
あずき	アブラムシ類	4000倍	100～300L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内	
やまのいも	アブラムシ類	4000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内	
やまのいも(むかご)				収穫21日前まで				
はくさい				収穫14日前まで				4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
キャベツ				収穫7日前まで				
だいこん		収穫14日前まで	1回	1回				
はつかだいこん								
茶(適用拡大申請)	チャノボカ	4000倍	200～400L/10a	摘採7日前まで				

(7) 【モスピラン・トップジンMスプレー (アセチアリド 0.0050%・チオファネートメチル 0.040%)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチアリドを含む農薬の総使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
きゅうり	炭疽病	原液	収穫前日まで	3回以内	希釈せずそのまま散布す	5回以内(定植時の株元散布は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)	6回以内(種子への処理は1回以内、は種後は5回以内)
	うどんこ病						
	アブラムシ類						
トマト	コナジラミ類	4000倍	収穫前日まで	2回以内	希釈せずそのまま散布す	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計2回以内)	6回以内(種子への処理は1回以内、は種後は5回以内)
	葉かび病						
	アブラムシ類						



作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
なす				3回以内	る	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)	

(9) 【モスピランワン 粒剤(アセタミプリド 1%) (新規申請)】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
きゅうり	アブラムシ類	1~2g/株	定植後から収穫前日まで	3回以内	株元散布	5回以内(定植時の2%粒剤の株元散布は1回以内、定植後の2%粒剤の株元散布は1回以内、散布及びくん煙及び1%粒剤の株元散布は合計3回以内)
	コナジラミ類	1g/株				
なす	アブラムシ類	1~2g/株				4回以内(定植時の2%粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙及び1%粒剤の株元散布は合計3回以内)
トマト ミニトマト	コナジラミ類	1g/株				
ピーマン	アブラムシ類	1~2g/株		2回以内		3回以内(定植時の2%粒剤の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙及び1%粒剤の株元散布は合計2回以内)

(10) 海外(米国)での使用方法

① Assail 水和剤 (アセタミプリド 70%)

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
まめ類 エンドウマメ インゲンマメ ダイズ 等	アブラムシ類 ヨコバイ類 Cucumber beetle ダイズサルハムシ インゲンテントウ	0.044-0.1	航空散布 5 gallons/A	収穫 7日前 まで	3回 以内
	コナジラミ類	0.075-0.1	地上散布 20 gallons/A		
	アザミウマ類	0.085-0.1			
Tuberous And Corm Vegetables  ジャガイモ サツマイモ クズウコン アーティチョーク 等	アブラムシ類	0.044-0.075	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	ヨコバイ類, コロラドハムシ Cucumber beetle	0.025-0.075			
	ノミハムシ類	0.025-0.05			
	ヨーロッパアワノメイガ (卵)	0.05-0.075			
アブラナ科作物  ブロッコリー キャベツ 芽キャベツ ミズナ カリフラワー ケール 等	アブラムシ類	0.035-0.054	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.05-0.075			
	アザミウマ類	0.075			
	コナガ	0.075			
	Swede midge	0.075			
葉野菜  セロリ <u>レタス</u> カラシナ <u>ホウレンソウ</u> パセリ 等	アブラムシ類	0.035-0.075	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.05-0.075			
タマネギ および	アザミウマ類	0.094-0.15	航空散布 5 gallons/A	収穫 7日前	4回 以内

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
Bulb Vegetable 類  タマネギ ニンニク ユリネ 等			地上散布 20 gallons/A	まで	
果菜類  ナス トマト ホウズキ トウガラシ 等	アブラムシ類	0.035-0.075	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	コロラドハムシ	0.025-0.05			
	コナジラミ類	0.05-0.075			
	アザミウマ類	0.075			
	Pepper weevil	0.05-0.075			
うり類  メロン キュウリ カボチャ スイカ 等	Cucumber beetle Melonworm Pickleworm	0.05-0.10	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫直後 まで (PHI 0)	5回 以内
	ヘリカメムシ類 Squash vine borer	0.1			
	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.05-0.075			
	シルバーリーフ コナジラミ	0.05-0.10			
柑橘類  グレープフルーツ キンカン レモン ライム オレンジ ミカン 等	アブラムシ類	0.05-0.1	航空散布 20 gallons/A  地上散布 100 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	Citrus thrips, ミカンハモグリガ, Caribbean black scale, Glassywinged shaepshooter	0.75-0.125			
	アカマルカイガラムシ, カンキツカタカイガラムシ  キリギリス類	0.15-0.25  0.11-0.19			

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
Pome Fruit  リンゴ ナシ マルメロ ビワ 等	アブラムシ類	0.05-0.075	航空散布 10 gallons/A  地上散布 50 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	Tentiform leafminer	0.05			
	ヨコバイ類	0.05-0.075			
	コドリングア	0.075-0.15			
	ナシヒメシンクイ Lesser apple worm	0.1-0.15			
	コナカイガラムシ類 <i>Psylla mullein</i> カスミカメムシ類	0.075-0.15			
	European apple sawfly マメコガネ	0.1-0.15			
	Apple maggot Plum curculio ナシマルカイガラムシ	0.15			
	Dogwood borer	0.15			
Stone Fruit  アプリコット オウトウ  ネクタリン モモ プラム 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.05-0.10	航空散布 10 gallons/A  地上散布 50 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	Glassywinged sharpshooter	0.075-0.15			
	ナシヒメシンクイ Peach twig borer Plum curculio Cat-facing insects	0.1-0.15			
	Cherry fruit fly Black cherry fly Western cherry fly	0.10-0.15			
	ナシマルカイガラムシ マメコガネ Rose chafer	0.1-0.15			
イチゴ および Low growing berry 類	Blueberry maggot, Blueberry spanworm, Cherry fruitworm, ノミハムシ類,	0.075-0.13	航空散布 10 gallons/A  地上散布	収穫 1日前	2回 以内

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
	マメコガネ, Oblique banded leaf roller, カシカメムシ類 ケシキスイ類, アザミウマ類 コナジラミ類 Fireworm		20 gallons/A	まで	
	アブラムシ類 ヨコバイ類 アワフキムシ類	0.035-0.075			
ブルーベリー および Bush and Cane berry 類  <u>ブルーベリー</u> <u>ラズベリー</u> 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.044-0.1	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 1日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.075-0.1			
	マメコガネ, Blueberry maggot, ケシキスイ類, Tamished plant bug, Strawberry rootworm, Carnberry fruitworm, Cherry fruitworm, ノミハムシ類, Blueberry spanworm アザミウマ類	0.085-0.1			
ぶどう  キウイフルーツ (Fuzzy kiwifruit を除く)	ヨコバイ類, Glassywinged sharpshooter, アブラムシ類, コナカイガラムシ類 Western grapeleaf skeletonizer (ロッキー山脈東側のみの登録) ブドウネアブラムシ Banded grape bug Rose chafer マメコガネ	0.05	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	2回 以内

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
雑実	アブラムシ類	0.025-0.05	地上散布 5~10 gallos/A	収穫 28日前 まで	4回 以内
	シルバーリーフ コナジラミ	0.075-0.1			
	カスミカメムシ類	0.05-0.1			
	ノミハムシ類	0.025-0.05			
	アザミウマ類	0.05-0.075			
	オオタバコガ (卵)	0.025-0.05			
	コナジラミ類 (卵)	0.075-0.1			
Tree Nuts  アーモンド ペカン マカデミアナッツ ピスタチオ 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.05-0.18	航空散布 10 gallons/A  地上散布 50 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	Glassywinged Sharpshooter Pecan Nut Casebearer	0.075-0.125			
	コドリンガ ナシヒメシクイ Peach twig borer ナシマルカイガラムシ Hickory shuckworm Pecan weevil Red humped caterpillar Filbertworm Navel orangeworm	0.1-0.18			

② Assail 水溶性粒剤 (アセタミプリド 30%)

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
まめ類  エンドウマメ	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.047-0.1	航空散布 5 gallons/A	収穫 7日前 まで	3回 以内

Cucumber beetle

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
インゲンマメ ダイズ 等	ダイズサルハムシ インゲンテントウ		地上散布 20 gallons/A		
	コナジラミ類	0.075-0.1			
	アザミウマ類	0.085-0.1			
Tuberous And Corm Vegetables  ジャガイモ サツマイモ クズウコン アーティチョーク 等	アブラムシ類	0.047-0.075	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	ヨコバイ類, コロラドハムシ Cucumber beetle	0.028-0.075			
	ノミハムシ類	0.028-0.047			
	ヨーロッパアワノメイガ (卵)	0.047-0.075			
アブラナ科作物  ブロッコリー キャベツ 芽キャベツ ミズナ カリフラワー ケール 等	アブラムシ類	0.038-0.075	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.047-0.075			
	アザミウマ類	0.075			
	コナガ	0.075			
	Swede midge	0.075			
葉野菜  セロリ レタス カラシナ ホウレンソウ パセリ 等	アブラムシ類	0.038-0.075	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.056-0.075			
タマネギ および Bulb Vegetable 類	アザミウマ類	0.094-0.15	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
タマネギ ニンニク ユリネ 等					
果菜類  ナス トマト ホウズキ トウガラシ 等	アブラムシ類	0.038-0.075	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	コロラドハムシ	0.028-0.047			
	コナジラミ類	0.047-0.075			
	アザミウマ類	0.075			
	Pepper weevil	0.047-0.075			
うり類  メロン キュウリ カボチャ スイカ 等	Cucumber beetle Melonworm Pickleworm	0.047-0.10	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫直後 まで (PHI 0)	5回 以内
	ヘリカメムシ類 Squash vine borer	0.10			
	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.047-0.075			
	シルバーリーフ コナジラミ	0.047-0.10			
柑橘類  グレープフルーツ キンカン レモン ライム オレンジ ミカン 等	アブラムシ類  Citrus thrips, ミカンハモグリガ, Caribbean black scale, Glassywinged shaepshooter	0.047-0.103  0.075-0.13	航空散布 20 gallons/A  地上散布 100 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	アカマルカイガラムシ, カンキツカタカイガラムシ	0.15-0.25			
	キリギリス類	0.11-0.19			
Pome Fruit  リンゴ	アブラムシ類  Tentiform leafminer	0.047-0.075  0.047	航空散布 10 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内



作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
ナシ マルメロ ビワ 等	ヨコバイ類	0.047-0.075	地上散布 50 gallons/A		
	コドリンガ	0.075-0.15			
	ナシヒメシンクイ Lesser apple worm	0.094-0.15			
	コナカイガラムシ類 <i>Psylla mullein</i> カスミカメムシ類	0.075-0.15			
	European apple sawfly マメコガネ	0.094-0.15			
	Apple maggot Plum curculio ナシマルカイガラムシ	0.15			
	Dogwood borer	0.15			
Stone Fruit アプリコット オウトウ ネクタリン モモ プラム 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.047-0.10	航空散布 10 gallons/A  地上散布 50 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	Glassywinged sharpshooter	0.075-0.15			
	ナシヒメシンクイ Peach twig borer Plum curculio Cat-facing insects	0.10-0.15			
	Cherry fruit fly Black cherry fly Western cherry fly	0.10-0.15			
	ナシマルカイガラムシ マメコガネ Rose chafer	0.10-0.15			
イチゴ および Low growing berry 類	Blueberry maggot, Blueberry spanworm, Cherry fruitworm, ノミハムシ類, マメコガネ, Oblique banded leaf roller,	0.075-0.13	航空散布 10 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 1日前 まで	2回 以内

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
	ケシキスイ類, アザミウマ類 コナジラミ類 Fireworm				
	アブラムシ類 ヨコバイ類 アワフキムシ類	0.035-0.075			
ブルーベリー および Bush and Cane berry 類  ブルーベリー <u>ラズベリー</u> 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.047-0.1	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 1日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.075-0.1			
	マメコガネ Blueberry maggot, ケシキスイ類, Tarnished plant bug, Strawberry rootworm, Cranberry fruitworm, Cherry fruitworm, ノミハムシ類, Blueberry spanworm アザミウマ類	0.085-0.1			
ぶどう  キウイフルーツ (Fuzzy kiwifruit を 除く)	ヨコバイ類, Glassywinged sharpshooter, アブラムシ類, コナカイガラムシ類 Western grapeleaf skeletonizer (ロッキー山脈東側のみの登録) ブドウネアブラムシ Banded grape bug Rose chafer マメコガネ	0.047	航空散布 5 gallons/A  地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	2回 以内
綿実	アブラムシ類	0.028-0.047	航空散布 5 gallons/A	収穫 28日前 まで	4回 以内
	シルバーリーフ コナジラミ	0.075-0.1			

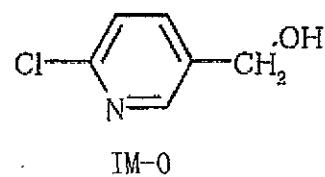
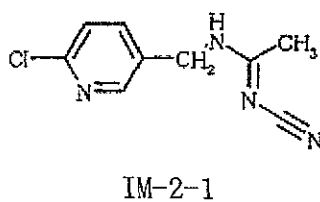
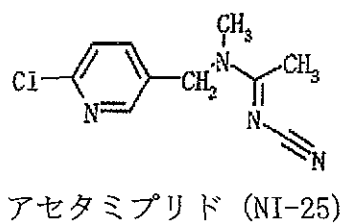
作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
	カスミカメムシ類	0.047-0.1	地上散布 10 gallons/A		
	ノミハムシ類	0.028-0.047			
	アザミウマ類	0.047-0.075			
	オオタバコガ (卵)	0.028-0.047			
	コナジラミ類 (卵)	0.075-0.1			
Tree Nuts  アーモンド ペカン マカデミアナッツ ピスタチオ 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.047-0.18	航空散布 10 gallons/A  地上散布 50 gallons/A	収穫 14日前 まで	4回 以内
	Glassywinged Sharpshooter Pecan Nut Casebearer	0.075-0.15			
	コドリング ナシヒメシンクイ Peach twing borer ナシマルカイガラムシ Hickory shuckworm Pecan weevil Red humped caterpillar Filbertworm	0.10-0.18			

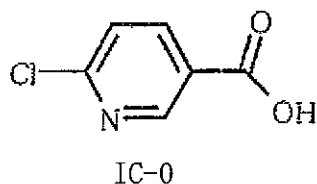
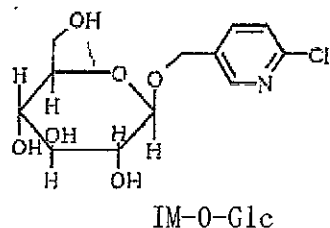
## 6. 作物残留試験

### (1) 分析の概要

#### ① 分析対象の化合物

- ・ アセタミプリド (GC法、HPLC法)
- ・ アセタミプリド及び代謝物5化合物 (IM-2-1, IM-0, IM-0-Glc, IC-0) (統一法)





## ② 分析法の概要

### ・ GC法

アセトン抽出後、酢酸エチルに転溶し、ケイ酸マグネシウムミニカラムで精製後、アルカリ熱イオン化検出器又は高感度窒素・リン酸検出器付きガスクロマトグラフで定量する。

### ・ HPLC法

アセトンで抽出、多孔性ケイソウ土カラムを通した後、ケイ酸マグネシウムミニカラムで精製し、高速液体クロマトグラフを用いて定量する。

### ・ 統一法

メタノールで抽出後、水酸化ナトリウムで加水分解し、更に過マンガン酸カリウムで酸化し、すべての化合物を同一化合物（IC-0）とする。ジクロロメタン+アセトンに転溶後、ジアゾメタンを用いて、エステル化し、カラムクロマトグラフィーで精製後、ガスクロマトグラフ（ $^{63}\text{Ni}$  ECD等）で定量する。

## (2) 作物残留試験結果

作物残留試験においては、代謝物については、個別の定量は示されておらず、アセタミプリド又は代謝物をアセタミプリドに換算した分析値として記載されている。

### ①-1 とうもろこし

とうもろこし（種子）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量<sup>(注1)</sup>は、<0.05、<0.05ppmであった。

### ①-2 未成熟とうもろこし

未成熟とうもろこし（種子）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

未成熟とうもろこし（種子）を用いた作物残留試験（2例）において、18%液剤の64倍希釈液を3回散布〔(3.2L/10a)産業用無人ヘリによる散布〕したところ、散布後14日の最大残留量は<0.05、<0.05ppmであった。

## ② あずき

あずき（乾燥種実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は、<0.06、0.60ppmであった。

③ ばれいしょ

ばれいしょ（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（200～300L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は<0.005、<0.005ppmであった。

ばれいしょ（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の撒溝処理（1回）（6kg/10a）及び20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

ばれいしょ（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植溝土壌混和（1回）（6kg/10a）及び18%液剤の64倍希釈液を3回散布〔（3.2L/10a）無人へりによる散布〕したところ、散布後7日の最大残留量は<0.05、<0.05ppmであった。

④ さといも

さといも（塊根）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の播溝散布処理を1回散布（6kg/10a）したところ、散布後160、183日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

⑤ やまのいも

やまのいも（塊根）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後7、14日の最大残留量は0.01、0.01ppmであった。

⑥ こんにゃくいも

こんにゃくいも（球茎）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の株元土壌混和を1回（3kg/10a）行ったところ、散布後134、136日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

⑦ てんさい

てんさい（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の120倍希釈液を1回処理〔（6L/m<sup>2</sup>（10a相当））植え付け相当分苗床灌注〕したところ、処理後162、167日の最大残留量は<0.05、<0.05ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

⑧ ⑨ だいこん

だいこん（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の播溝処理を

1回(4kg/10a)したところ、散布後42、70日の最大残留量は0.03、<0.01ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

だいこん(根部)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布(100~200/10a)したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.01、<0.01ppmであった。

だいこん(つまみ菜)(間引き菜)を用いた作物残留試験(2例)において2%粒剤の播溝処理を1回(4kg/10a)したところ、散布後13、12日の最大残留量は1.98、0.397ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

だいこん(葉部)を用いた作物残留試験(2例)において2%粒剤の播溝処理を1回(4kg/10a)したところ、散布後42、70日の最大残留量は0.28、0.03ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

だいこん(葉部)を用いた作物残留試験(2例)において20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布(100~200/10a)したところ、散布後14日の最大残留量は0.06、0.24ppmであった。

#### ⑧ ⑨ はつかだいこん

はつかだいこん(根部)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布(150L/10a)したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.01、<0.01ppmであった。

はつかだいこん(葉部)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布(150L/10a)したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

#### ⑩ ⑪ かぶ

かぶ(根)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布(306.8又は242.4L/10a)したところ、散布後21日の最大残留量は、0.02、0.02ppmであった

かぶ(葉)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布(306.8又は242.4L/10a)したところ、散布後21日の最大残留量は1.02、1.57ppmであった。

#### ⑫ ワサビダイコン

ワサビダイコン(根茎)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布(150L/10a)したところ、散布後7日の最大残留量は、<

0.01、 $<0.01$ ppmであった。

⑬ はくさい

はくさい（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理（2g/株）1回及び20%水溶剤の1000倍希釈液を3回散布（64~150L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は0.15、0.18ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

⑭-1 キャベツ

キャベツ（葉球）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理（2g/株）1回及び20%水溶剤の1000倍希釈液を5回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は1.09、0.90ppmであった。

キャベツ（葉球）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理（2g/株）1回及び20%水溶剤の1000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は0.24、0.42ppmであった。

⑭-2 メキャベツ

メキャベツ（芽球）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後6、7日の最大残留量は、 $<0.05$ 、0.10ppmであった。

⑮ こまつな

こまつな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を1回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、1.00、1.76ppmであった。

⑯ みずな

みずな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、1.00、2.25ppmであった。

みずな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、1.44、1.75ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

⑰ チンゲンサイ

チンゲンサイ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理（1g/株）1回及び20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後14、7日の最大残留量は2.72、1.22ppmであった。

⑱ カリフラワー

カリフラワー（花雷）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（200、266.7～300L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.18、0.34ppmであった。

⑲ ブロッコリー

ブロッコリー（花雷）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理（2g/株）1回及び20%水溶剤の**1000倍**希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は0.36、0.64ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

⑳-1,2 非結球メキャベツ

非結球メキャベツ（えき芽葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.60、0.68ppmであった。

非結球メキャベツ（本葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.88、2.85ppmであった。

⑳-3 茎ブロッコリー

茎ブロッコリー（花雷及び茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の**2000倍**希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は、0.40、0.12ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

⑳-4 なずな

なずな（茎葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.24、0.48ppmであった。

⑳-5 ひこしまはるな

ひこしまはるな（茎葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴土壌混和を1回散布（1g/株）したところ、散布後53、54日の最大残留量は、<0.1、<0.1ppmであった。

㉑ しゅんぎく

しゅんぎく（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を2回散布（300、150L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、2.02、0.39ppmであった。



㊟-1 レタス

レタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（150～250L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は0.08、0.31ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

レタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理（2g/株）1回及び20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（80.8～200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.54、0.34ppmであった。

㊟-2 リーフレタス

リーフレタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を1回散布（245～257.257.1L/10a）散布、及び2%粒剤の定植時株元散布（0.5g/株）したところ、散布後7～21日の最大残留量は1.68、1.48ppmであった。

㊟-3 ロメインレタス

ロメインレタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を1回散布（200、300L/10a）及び2%粒剤の定植時株元散布（0.5g/株）したところ、散布後7～21日の最大残留量は2.67、1.02ppmであった。

㊟-1 くきちしゃ

くきちしゃ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は<0.05、<0.05ppmであった。

㊟-2 ははこぐさ（ゴギョウ）

ははこぐさ（ゴギョウ）（茎葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は0.34、0.77ppmであった。

㊟-3 食用ぎく

食用ぎく（花卉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布（150、200L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、1.26、0.48ppmであった。

㊟-4,5 ふき

ふき（葉柄）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の定植直後株元散布を1回（2g/株）及び20%水溶剤の3000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、0.10、0.06ppmであった。

ふき（葉柄）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の株元散布を1回（2g/株）したところ、散布後82、100日の最大残留量は<0.05、<0.05ppmであった。

㉔ たまねぎ

たまねぎ（鱗茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

㉕-1,2 葉ねぎ

葉ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.14、0.15ppmであった。

葉ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の株元散布を3回（6kg/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

㉕-3,4 根深ねぎ

根深ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

根深ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を株元処理を3回（6kg/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

㉖ にら

にら（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は、1.46、1.84ppmであった。

㉗ アスパラガス

アスパラガス（茎）を用いた作物残留試験（1例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は0.20ppmであった。

アスパラガス（茎）を用いた作物残留試験（1例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は0.07ppmであった。

## ㉘ わけぎ

わけぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤（6kg/10a）1回散布及び20%水溶剤の2000倍希釈液（300、278L/10a）3回散布したところ、散布後7日の最大残留量は、1.36、0.14ppmであった。

わけぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤（6kg/10a）1回散布及び20%水溶剤の4000倍希釈液（300、278L/10a）3回散布したところ、散布後7日の最大残留量は、0.40、<0.05ppmであった。

## ㉘-1 食用ゆり

食用ゆり（鱗茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を4回散布（150、200L/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

## ㉘-2 らっきょう

らっきょう（鱗茎）を用いた作物残留試験（3例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（150、200L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.01、0.03、0.02ppmであった。

## ㉙ パセリ

パセリ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後3日の最大残留量は、1.10、0.39ppmであった。

## ㉚ セロリ

セロリ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の定植時植穴土壌混和を1回（0.5g/株）したところ、散布後71、100日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

セロリ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（250、235L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.85、0.30ppmであった。

## ㉛ みつば

みつば（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を1回散布（150、200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.97、1.82ppmであった。

## ㉜-1 ミニトマト

ミニトマト（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、15%燻煙剤の燻煙処

理 (50g/400m<sup>3</sup>) 及び 2% 粒剤 (1g/株) 定植時植穴土壌混和したところ、散布後 1 日の最大残留量は、0.16、<0.05ppm であった。

ミニトマト (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20% 水溶剤の 2000 倍希釈液を 3 回散布 (300L/10a) 及び 2% 粒剤の定植時植穴土壌混和 (1g/株) したところ、散布後 1 日の最大残留量は、0.50、0.73ppm であった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

ミニトマト (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、2% 粒剤を定植時植穴土壌混和 (1g/株) 及び 1% 粒剤を生育期株元散布 (2g/株) したところ、散布後 1 日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppm であった。

### ③-2 トマト

トマト (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20% 水溶剤の 2000 倍液希釈液を 2 回散布 (300L/10a) したところ、散布後 1~7 日の最大残留量は 0.23、0.42ppm であった。

トマト (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20% 水溶剤の 2000 倍液希釈液を 2 回散布 (300L/10a) したところ、散布後 1 日の最大残留量は、0.21、0.46ppm であった。

トマト (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、2% 粒剤の植穴混和处理 (2g/株) 1 回及び 20% 水溶剤の 2000 倍液希釈液を 2 回散布 (200L/10a) したところ、散布後 1、3 日の最大残留量は、0.20、0.20ppm であった。

トマト (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、15% 燻煙剤を 2 回燻煙 (50g/400m<sup>3</sup>) したところ、散布後 1、3 日の最大残留量は、0.02、0.04ppm であった。

トマト (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、2% 粒剤の定植時植穴混和 (2g/株) 1 回及び株元散布 (1g/株) 2 回処理したところ、散布後 1 日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppm であった。

### ④ ピーマン

ピーマン (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、2% 粒剤の植穴混和处理 (1g/株) 1 回散布したところ、散布後 93、44 日の最大残留量は、0.04、0.15ppm であった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

ピーマン (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20% 水溶剤の 2000 倍液希釈液を 3 回散布 (250~300/10a) したところ、散布後 1 日の最大残留量は、2.33、1.45ppm であった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、15%燻煙剤を3回散布（50g/400 m<sup>2</sup>）したところ、散布後1日の最大残留量は0.24ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、15%燻煙剤を3回散布（50g/400 m<sup>2</sup>）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.20ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理（1g/株）1回処理したところ、処理後84、78日の最大残留量は、0.03、0.01ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（200～400/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は、0.18、0.40ppmであった。

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を植穴土壌混和処理（0.5g/株）1回及び1%粒剤を生育期株元散布（2g/株）2回処理したところ、散布後1日の最大残留量は、<0.05、0.05ppmであった。

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴土壌混和処理（0.5g/株）1回及び15%燻煙剤を2回燻煙（50g/400 m<sup>2</sup>）したところ、散布後1日の最大残留量は、0.24、0.14ppmであった。

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の定植時植穴土壌混和処理（0.5g/株）1回散布及び20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（150、220.4L/10a）茎葉散布したところ、散布後1日の最大残留量は、0.32、0.43ppmであった。

#### ㊦ なす

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤の植穴混和処理を1回散布（1g/株）したところ、散布後63、60日の最大残留量は、0.04、0.02ppmであった。

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後1～3日の最大残留量は、0.15、0.54ppmであった。

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液

を3回散布(300L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は、0.50、0.27ppmであった。

なす(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、2%粒剤の植穴混和处理を1回処理(1g/株)及び20%水溶剤の2000倍希釈を3回散布(150、400L/10a)したところ、散布後1日の最大残留量は、0.50、0.27ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

なす(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、2%粒剤の植穴混和处理を1回処理(1g/株)及び15%燻煙剤を3回処理(50g/400m<sup>3</sup>)したところ、散布後1日の最大残留量は、0.14、0.12ppmであった。

なす(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、2%粒剤の定植時植穴混和处理を1回処理(1g/株)及び1%粒剤を3回生育期株元散布(2g/株)したところ、散布後1日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

なす(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、15%燻煙剤を3回散布(50g/400m<sup>3</sup>)したところ、散布後1~7日の最大残留量は、0.07、0.23ppmであった。

#### ③⑥-1 とうがらし類

とうがらし類(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の8000倍希釈液を2回散布(200、267.56L/10a)したところ、散布後7日の最大残留量は、0.16、0.07ppmであった。

#### ③⑥-2 ししとう

ししとう(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の8000倍希釈液を2回散布(300L/10a)したところ、散布後8、7日の最大残留量は、0.36、0.28ppmであった。

#### ③⑥-3 食用ほおずき

食用ほおずき(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の4000倍希釈液を3回散布(200L/10a)したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

#### ③⑦ きゅうり

きゅうり(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、2%粒剤の株元散布を1回散布(1g/株)したところ、散布後48、46日の最大残留量は、0.09、0.02ppmであった。

きゅうり(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希

积液を3回散布(171~300L/10a)したところ、散布後1、3日の最大残留量は0.42、0.26ppmであった。

きゅうり(果実)において、15%燻煙剤を3回燻煙(50g/400m<sup>3</sup>)したところ、散布後3、1日の最大残留量は、0.32、0.52ppmであった。

きゅうり(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、2%粒剤の株元散布を2回(定植時1g/株及び生育期0.5g/株)及び1%粒剤を3回散布(2g/株)したところ、散布後1日の最大残留量は、0.10、<0.05ppmであった。

きゅうり(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、2%粒剤を株元散布を2回(定植時1g/株及び生育期0.5g/株)及び15%燻煙剤を3回燻煙処理(50g/400m<sup>3</sup>)したところ、散布後1日の最大残留量は、0.20、0.06ppmであった。

きゅうり(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、2%粒剤を株元散布を2回(定植時1g/株及び生育期0.5g/株)及び20%水溶剤の2000倍希釈を3回散布(150~200L/10a)したところ、散布後1日の最大残留量は、0.29、0.29ppmであった。

#### ㊸-1,2 かぼちゃ

かぼちゃ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布(300L/10a)したところ、散布後1日の最大残留量は、<0.05、0.21ppmであった。

かぼちゃ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、2%粒剤の定植時植穴土壌混和(1g/株)及び20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布(300又は200L/10a)したところ、散布後1日の最大残留量は、0.06、0.08ppmであった。

#### ㊸-3 ズッキーニ

ズッキーニ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、15%燻煙成型剤の燻煙処理を2回処理(50g/400m<sup>3</sup>)したところ、燻煙後1日の最大残留量は、<0.01、<0.01ppmであった。

#### ㊸ すいか

すいか(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、15%燻煙剤を3回処理(50g/400 m<sup>3</sup>)したところ、処理後7、3日の最大残留量は、0.06、0.09ppmであった。

すいか(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、2%粒剤の定植時植穴土壌混和(2g/株)1回及び20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布(200L/10a)したと

ころ、散布後 7、14 日の最大残留量は、0.06、0.07ppm であった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

④① メロン

メロン（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 2000 倍希釈液を 3 回散布（200・300L/10a）したところ、散布後 7、14 日の最大残留量は、0.14、0.03ppm であった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

メロン（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、2%粒剤の定植時植穴土壌混和（2g/株）1 回及び 20%水溶剤の 8000 倍希釈液を 3 回散布（150～200L/10a）したところ、散布後 3、7 日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppm であった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

メロン（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、15%燻煙剤を 3 回処理（50g/400 m<sup>2</sup>）したところ、処理後 7 日の最大残留量は、0.16、0.14ppm であった。

④② にがうり

にがうり（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 4000 倍希釈液を 3 回散布（200L/10a）したところ、散布後 1 日の最大残留量は、0.16、0.20ppm であった。

④③-1 ほうれんそう

ほうれんそう（茎葉）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 8000 倍希釈液を 2 回散布（150～200L/10a）したところ、散布後 3 日の最大残留量は、2.52、1.66ppm であった。

④③-2 ほうれんそう

ほうれんそう（茎葉）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 8000 倍希釈液を 2 回散布（200L/10a）したところ、散布後 3 日の最大残留量は、13.0、2.10ppm であった。なお、本農作物の残留基準値や適用方法については、短期暴露量推計の試算も勘案した上で、検討を行うこととする。

④④ オクラ

オクラ（果実）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 4000 倍液希釈液を 1～3 回散布（150 L/10a）したところ、散布後 1 日の最大残留量は、0.18、0.41ppm であった。

④⑤ さやえんどう

さやえんどう（さや）を用いた作物残留試験（2 例）において、20%水溶剤の 4000 倍希釈液を 3 回散布（300L/10a）したところ、散布後 1 日の最大残留量は 0.84、0.26ppm



であった。

④⑥ さやいんげん (さや)

さやいんげん (さや) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20%水溶剤の 2000 倍希釈液を 3 回散布 (150L/10a) したところ、散布後 1 日の最大残留量は、0.52、0.26ppm であった。

さやいんげん (さや) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20%水溶剤の 2000 倍希釈液を 3 回散布 (150~400L/10a) したところ、散布後 1 日の最大残留量は、0.50、1.45ppm であった。

④⑦-1 えだまめ (さや)

えだまめ (さや) を用いた作物残留試験 (2 例) において、2%粒剤の土壌混和処理 (3kg/10a) 及び 20%水溶剤の **2000 倍**希釈液散布 (150L/10a) を 3 回 散布したところ、散布後 7 日の最大残留量は、1.42、0.83ppm であった。

④⑦-2 えだまめ (さや)

えだまめ (さや) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20%水溶剤の **2000 倍**希釈液を 3 回散布 (150L/10a) したところ、散布後 7 日の最大残留量は、0.31、1.48ppm であった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

④⑧-1 エンサイ

エンサイ (茎葉) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20%水溶剤の 4000 倍希釈液を 2 回散布 (200L/10a) したところ、散布後 7 日の最大残留量、0.42、2.03ppm であった。

④⑧-2 ふだんそう

ふだんそう (葉) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20%水溶剤の 4000 倍希釈液を 2 回散布 (150、200L/10a) したところ、散布後 7 日の最大残留量は、1.62、1.94ppm であった。

④⑧-3 つるな

つるな (茎葉) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20%水溶剤の 4000 倍希釈液を 3 回散布 (300L/10a) したところ、散布後 14 日の最大残留量は、1.8、2.8ppm であった。

④⑧-4 モロヘイヤ

モロヘイヤ (茎葉) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20%水溶剤の **2000 倍**希釈液を 2 回散布 (200L/10a) したところ、散布後 21 日の最大残留量は、1.01、0.52ppm であった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

㊸-5 食用さくら（葉）

食用さくら（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を1回散布（300L/10a）したところ、散布後3日の最大残留量は、1.22、0.33ppmであった。

㊸-6 やまのいも（むかご）

むかご（やまのいも）（珠芽）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は、0.15、0.08ppmであった。

㊸ 温州みかん

温州みかん（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（400L/10a）したところ、散布後14、21日の最大残留量は、2.76、1.22ppmであった。

温州みかん（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（400L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、0.17、0.02ppmであった。

温州みかん（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、15%燻煙剤を3回処理（50g/400㎡）したところ、処理後3日の最大残留量は、1.54、0.74ppmであった。

温州みかん（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、15%燻煙剤を3回処理（50g/400㎡）したところ、処理後3日の最大残留量は、0.08、0.05ppmであった。

温州みかん（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の200倍希釈液を3回散布（樹幹散布）（30L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

温州みかん（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の200倍希釈液を3回散布（樹幹散布）（30L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

㊸ 夏みかん

夏みかん（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（400L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、0.54、0.90ppmであった。

夏みかん（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の200倍希

积液を3回散布(樹幹散布)(30L/10a)したところ、散布後14日の最大残留量は、 $<0.05$ 、 $<0.05\text{ppm}$ であった。

㊦-1,2 かぼす

かぼす(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希积液を3回散布(400L/10a)したところ、散布後14日の最大残留量は、0.88、0.53ppmであった。

かぼす(果実)を用いた作物残留試験(1例)において、20%水溶剤の200倍希积液を3回散布(樹幹散布)(30L/10a)したところ、散布後16日の最大残留量は、 $<0.05\text{ppm}$ であった。

㊦-3 すだち

すだち(果実)を用いた作物残留試験(1例)において、20%水溶剤の200倍希积液を3回散布(樹幹散布)(30L/10a)したところ、散布後14日の最大残留量は、 $<0.05\text{ppm}$ であった。

㊦ りんご

りんご(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希积液を2回散布(400L/10a)したところ、散布後14日の最大残留量は、0.19、0.44ppmであった。

りんご(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希积液を2回散布(500L/10a)したところ、散布後7、14日の最大残留量は、0.5、 $<0.2\text{ppm}$ であった。

りんご(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希积液を2回散布(500、600L/10a)したところ、散布後1日の最大残留量は、0.41、0.50ppmであった。

りんご(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希积液を3回散布(500L/10a)したところ、散布後1日の最大残留量は、0.39、0.80ppmであった。

㊦ なし

日本なし(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希积液を2回散布(350、700L/10a)したところ、散布後3日の最大残留量は、0.18、0.28ppmであった。

なし(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希積

液を2回散布(400L/10a)したところ、散布後14、21日の最大残留量は、0.34、0.12ppmであった。

なし(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布(400、600L/10a)したところ、散布後1日の最大残留量は、0.28、0.74ppmであった。

⑤④ びわ

びわ(果肉)を用いた作物残留試験(1例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布(400L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は、<0.01ppmであった。

びわ(果肉)を用いた作物残留試験(1例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布(400L/10a)したところ、散布後1日の最大残留量は、0.02ppmであった。

⑤⑤ もも

もも(果肉)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布(400L/10a)したところ、散布後7日の最大残留量は、0.42、0.23ppmであった。

もも(果肉)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布(400、500L/10a)したところ、散布後3日の最大残留量は、0.69、0.36ppmであった。

⑤⑥ ネクタリン

ネクタリン(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の4000倍希釈液を3回散布(600、700L/10a)したところ、散布後3日の最大残留量は0.28、0.42ppmであった。

⑤⑦ すもも

すもも(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布(400L/10a)したところ、散布後7日の最大残留量は、0.12、1.23ppmであった。

⑤⑧ うめ

うめ(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布(400L/10a)したところ、散布後7、21日の最大残留量は、1.10、0.62ppmであった。

⑤9 おうとう

おうとう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（500、700L/10a）したところ、散布後3日の最大残留量は、0.92、0.68ppmであった。

⑥0 いちご

いちご（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後3、1日の最大残留量は、0.18、0.44ppmであった。

いちご（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布（200L/10a）及び2%粒剤の植穴混和処理を（1g/株）1回処理したところ、散布後1日の最大残留量は、0.86、0.78ppmであった。

いちご（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（200L/10a）及び2%粒剤の植穴混和処理を（1g/株）1回処理したところ、散布後1日の最大残留量は0.70ppmであった。

いちご（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布（200L/10a）及び2%粒剤の植穴混和処理を（1g/株）1回処理したところ、散布後1日の最大残留量は、0.46、1.38ppmであった。

いちご（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、15%燻煙剤を2回散布（50g/360~400m<sup>3</sup>）したところ、散布後1日の最大残留量は、0.41、0.41ppmであった。

⑥1 ブルーベリー

ブルーベリー（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を1回散布（300L/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は、<0.5、1.0ppmであった。

⑥2 ぶどう

ぶどう・デラウェア（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布（250L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、2.88、2.51ppmであった。

ぶどう・デラウェア（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布（200、250L/10a）したところ、散布後14、11日の最大残留量は1.47、2.36ppmであった。ただし、後者の試験は適用の範囲内でおこなわ

れていない。

ぶどう・巨峰（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布（250L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は0.24ppmであった。

ぶどう・巨峰（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、2%粒剤を2回樹冠下散布（6kg/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.05ppmであった。

ぶどう・デラウェア（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、2%粒剤の樹冠下散布を2回散布（6kg/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、<0.05ppmであった。

ぶどう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、0.98、1.14ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

⑥③ かき

かき（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（400、420L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.40、0.20ppmであった。

⑥④ キウイフルーツ

キウイフルーツ（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（260、500L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、<0.05、<0.05ppmであった。

⑥⑤ マンゴー

マンゴー（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（300、700L/10a）したところ、散布後35、21日の最大残留量は、0.44、0.44ppmであった。ただし、後者の試験は適用の範囲内で行われていない。

⑥⑥ パッションフルーツ

パッションフルーツ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を2回散布（312.5、267L/10a）したところ、散布後28日の最大残留量は、0.04、0.30ppmであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

⑥⑦-1 いちじく

いちじく（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（400L/10a）したところ、散布後1日の最大残留量は、0.44、0.47ppm

であった。

⑥7-2 アセロラ

アセロラ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（556、220L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は0.22、0.40ppmであった。

⑥7-3 カリン

カリン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の1000倍希釈液を1回散布（40L/2樹）及び20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（400L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、0.34、0.24ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

⑥7-4 あけび

あけび（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2回散布（500L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.17、<0.05ppmであった。

⑥8 茶

茶（荒茶）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を1回散布（300L/10a）したところ、散布後13、14日の最大残留量は、9.88、12.0ppmであった。ただし、前者の試験は適用の範囲内でおこなわれていない。

茶（荒茶）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を1回散布（300L/10a）したところ、散布後13、14日の最大残留量は、19.8、21.4ppmであった。ただし、前者の試験は適用の範囲内でおこなわれていない。

茶（製茶）を用いた作物残留試験（2例）において、18%液剤の2000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、23.0、12.2ppmであった。ただし、これらの試験は適用の範囲内で行われていない。

⑥9, ⑦0-1 さんしょう

さんしょう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を1回散布（300L/10a）したところ、散布後7、21日の最大残留量は、2.0、2.3ppmであった。

さんしょう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の200倍希釈液を3回樹幹散布（20L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、<0.2、<0.2ppmであった。

さんしょう（葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を6回散布（150L/10a）したところ、散布後45日の最大残留量は、<0.4、1.2ppmであった。

⑩-2 しそ

しそ（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を2又は3回散布（300L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、それぞれ、0.65、0.50ppmであった。ただし、後者の試験は適用範囲内で行われていない。

⑩-3 セージ

セージ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は、1.9、<0.5ppmであった。

セージ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は、0.9、<0.5ppmであった。

⑩-4 タイム

タイム（茎葉及び花）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は0.6、2.4ppmであった。

⑩-5 オレガノ

オレガノ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の8000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、1.4、2.1ppmであった。

⑩-6 あさつき

あさつき（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の2000倍希釈液を3回散布（150～200L/10a）及び2%粒剤の植溝土壌混和处理（1回）（6kg/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は、0.42、0.56ppmであった。

⑩-7 レモンバーム

レモンバーム（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶剤の4000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は、2.4、0.5ppmであった。

⑩-8-(1) はっか（スペアミント）

はっか（スペアミント）（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%水溶



剤の 8000 倍希釈液を 3 回散布 (300L/10a) したところ、散布後 7 日の最大残留量は、2.4、2.3ppm であった。

㊦-8-(2) はっか (スペアミント)

はっか (スペアミント) (茎葉) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20%水溶剤の 4000 倍希釈液を 3 回散布 (300L/10a) したところ、散布後 7 日の最大残留量は、3.3、4.0ppm であった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

㊦-9 タラゴン

タラゴン (茎葉) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20%水溶剤の 4000 倍希釈液を 2 回散布 (150L/10a) したところ、散布後 14 日の最大残留量は、1.3、2.06ppm であった。

㊦-10 チャービル

チャービル (茎葉) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20%水溶剤の 8000 倍希釈液を 3 回散布 (300L/10a) したところ、散布後 21 日の最大残留量は、1.0、1.6ppm であった。

㊦-11 デイル

デイル (茎葉) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20%水溶剤の 8000 倍希釈液を 3 回散布 (300L/10a) したところ、散布後 21 日の最大残留量は、0.5、0.46ppm であった。

㊦-12 バジル

バジル (茎葉) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20%水溶剤の 8000 倍希釈液を 3 回散布 (300L/10a) したところ、散布後 21 日の最大残留量は、1.9、1.5ppm であった。

㊦-13 みょうが

みょうが (花穂) を用いた作物残留試験 (4 例) において、15%燻煙成型剤を 3 回処理 (50g/400m<sup>3</sup>) したところ、散布後 1、3 日の最大残留量は、<0.04、0.03ppm であった。

㊦-14 マジョラム

マジョラム (茎葉) を用いた作物残留試験 (2 例) において、20%水溶剤の 8000 倍希釈液を 3 回散布 (300L/10a) したところ、散布後 14 日の最大残留量は、0.5、2.8ppm であった。

これらの試験結果の概要については、別紙 1-1、海外で実施された作物残留試験成績

の結果の概要については、別紙 1-2 を参照。

注 1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

（参考：平成 10 年 8 月 7 日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」）

注 2) 適用範囲内で実施されていない作物残留試験については、適用範囲内で実施されていない条件を斜体で示した。

## 7. 乳牛における残留試験

乳牛に対して、飼料中濃度として 0, 6, 18, 60 ppm に相当する量のアセタミプリドを封入したカプセルを 1 日 1 回、28 日間にわたって強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び牛乳に含まれるアセタミプリド及び代謝物 IM-2-1 の含量が測定された（定量下限：0.01~0.05 ppm）。

18 ppm 以上の投与群から 筋肉、脂肪、肝臓に、60 ppm 投与群から 腎臓に アセタミプリドの検出が認められ、全ての投与群で、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に 代謝物 IM-2-1 の検出が認められた。

牛乳については、全ての投与群から、アセタミプリド及び代謝物 IM-2-1 の検出が認められ、アセタミプリドは約 1 日後に、代謝物 IM-2-1 は約 8 日後に、平衡濃度に達するものと推察された（結果については、下表参照）。

表. 乳牛 組織中の親化合物及び代謝物の残留 (ppm) (平均値)

	6 ppm 投与群		18 ppm 投与群		60 ppm 投与群	
	アセタミ プリド	代謝物 IM-2-1	アセタミ プリド	代謝物 IM-2-1	アセタミ プリド	代謝物 IM-2-1
筋肉	<0.01	0.038	0.019	0.16	0.074	0.90
脂肪	<0.01	0.027	0.011	0.064	0.033	0.33
肝臓	<0.05	0.10	0.053	0.39	0.16	2.1
腎臓	<0.05	0.19	<0.05	0.65	0.094	2.3
牛乳	0.012~ 0.016	0.031~ 0.059	0.042~ 0.059	0.13~ 0.21	0.17~ 0.21	0.54~ 0.95

注) 筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓は 28 日後の、牛乳は 投与期間中の残留値

上記の結果に関連して、米国では、肉牛及び乳牛における最大理論的飼料負荷 (MTDB)<sup>註)</sup> は、4.5 ppm と評価されている。

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden: MTDB)：飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって

畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考：Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

なお、ヤギに対して、<sup>14</sup>C標識したアセタミプリドを、7日間強制経口投与（飼料中濃度として、1, 10 ppm 相当）した運命試験において、可食部（筋肉、脂肪、肝臓、腎臓）、乳汁に含まれるアセタミプリド及び代謝物が測定されている。その結果、吸収されたアセタミプリドは、代謝され、主な組織残留物は、筋肉では代謝物 IM-2-2、その他の組織では代謝物 IM-2-1 と同定されている。組織中での残留は少ないとされ、大部分は速やかに尿中に排泄されるものと考えられている。

また、食品安全委員会によって作成された食品健康影響評価において、アセタミプリドが乳汁中に蓄積する可能性は低いと記載されている。

## 8. 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対して、飼料中濃度として 0, 1.2, 3.6, 12 ppm に相当する量のアセタミプリドを封入したカプセルを1日1回、28日間にわたって強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び卵に含まれるアセタミプリド及び代謝物 IM-2-1 含量が測定された（定量下限：0.01 ppm）。いずれの投与群においても、組織中のアセタミプリドは定量下限未満であり、全ての投与群から肝臓及び卵に、3.6 ppm 以上の投与群から筋肉に、12 ppm 投与群から脂肪に代謝物 IM-2-1 の検出が認められた。鶏卵中の代謝物 IM-2-1 は、約8日後に平衡濃度に達するものと推察された（結果については、下表参照）。

表. 産卵鶏 組織中の親化合物及び代謝物の残留 (ppm) (平均値)

	1.2 ppm 投与群		3.6 ppm 投与群		12 ppm 投与群	
	アセタミ プリド	代謝物 IM-2-1	アセタミ プリド	代謝物 IM-2-1	アセタミ プリド	代謝物 IM-2-1
筋肉	<0.01	<0.01	<0.01	0.023	<0.01	0.069
脂肪	—	—	<0.01	<0.01	<0.01	0.011
肝臓	<0.01	0.067	<0.01	0.18	<0.01	0.47
卵	<0.01	0.012~ 0.028	<0.01	0.042~ 0.093	<0.01	0.12~ 0.31

注) 筋肉、脂肪及び肝臓は 28 日後の、卵は 投与期間中の残留値

上記の結果に関連して、米国では、綿実加工品のあら粉が飼料に用いられる可能性に配慮して、家禽のトレランスが設定されたもの（メーカー）と考えられる。

なお、産卵鶏に対して、<sup>14</sup>C標識したアセタミプリド（飼料中濃度として、1, 10 ppm 相当）を 14 日間強制経口投与した運命試験において、可食部（筋肉、脂肪、肝臓）、卵（卵白・卵黄）等に含まれるアセタミプリド及び代謝物が測定されている。その結果、吸収されたアセタミプリドは、代謝され、主な組織残留物は代謝物 IM-2-1 と同定され

ている。組織での残留は少なく、速やかに糞中に排泄されるものと考えられている。卵での回収率は、投与量の1.3~1.4%と算出されている。

また、食品安全委員会によって作成された食品健康影響評価において、卵黄・卵白中にアセタミプリドが蓄積する可能性は低いと記載されている。

## 9. 魚介類への推定残留量

アセタミプリドの分配係数 (log Pow) は 3.5未満であるとして、農林水産省から、魚介類への濃縮性試験成績の提出は求められておらず、魚介類の残留基準の設定について、厚生労働省への要請はされていない。

## 10. ADIの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号及び同法第24条第2項の規定に基づき、平成20年2月12日付け厚生労働省発食安第0212003号により食品安全委員会あて意見を求めたアセタミプリドに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

### ・ADI

無毒性量：7.1 mg/kg 体重/day（発がん性は認められていない）

（試験の種類） 慢性毒性／発がん性併合試験

（動物種） ラット

（投与方法） 混餌投与

（期間） 2年間

安全係数：100

ADI：0.071 mg/kg 体重/day

### （参考）急性参照用量（ARfD）

無毒性量：10 mg/kg 体重

（試験の種類） 急性神経毒性試験

（動物種） ラット

（投与方法） 強制経口投与

（期間） 単回

安全係数：100

ARfD：0.1 mg/kg 体重/日

## 11. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はされておらず、国際基準は設定されていない。米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査したところ、

米国において、葉菜類、ベリー類果実、畜産物等に、カナダにおいて、アブラナ科野菜、なす科野菜、畜産物等に、オーストラリアにおいて、ばれいしょ、綿実、畜産物等に、EUにおいて、葉菜類、畜産物等に基準値が設定されている。

## 1.2. 基準値案

### (1) 残留の規制対象

・農産物 アセタミプリド

・畜産物 アセタミプリド及び代謝物 IM-2-1 (*N*-[(6-クロロ-3-ピリジル)メチル]-*N*<sup>ε</sup>-シアノアセトアミジン)に分子量の比である1.067を係数として乗じ、アセタミプリドに換算したものの和

植物体内運命試験において、アセタミプリド、代謝物 IM-2-1、IM-1-4、IM-0、IC-0、IS-1-1、IS-2-1、IM-0-Glc 等の分析が行われている。代表的な農産物について、基準値設定に参照する最大残留となる使用時期には、親化合物アセタミプリドが大部分を占めているとの記載がされていること及び従前の規制対象の取扱いを加味し、農産物の規制対象として代謝物を含めないこととした。なお、作物残留試験で統一法による結果と個別法 (GC 法又は HPLC 法) の結果の両方が報告されている場合で、両方の残留値の差が大きい場合は、個別法によるアセタミプリドの値を採用して基準値を設定することとし、両者の結果が類似の場合及び統一法の結果のみが報告されている場合は、統一法の値をアセタミプリドの残留値と同等に扱って基準値を設定することとした。

一方、畜産物移行性試験においては、アセタミプリドのほか、主要代謝物として IM-2-1 が、親化合物のアセタミプリドを上回る濃度で検出が認められている。米国、カナダ、オーストラリアにおいて、アセタミプリド及び代謝物を畜産物の規制対象としていることも勘案し、畜産物の規制対象をアセタミプリド及び代謝物 IM-2-1 とした。

なお、食品安全委員会によって作成された食品健康影響評価において、農産物の暴露評価対象物質として、アセタミプリドを設定している。

### (2) 基準値案

別紙2のとおりである。

なお、参考として、食品安全委員会より回付された急性参照用量 (ARfD) に関して、基準値(案)の設定に当たっては、2008年5月23日に開催された薬事・食品衛生審議会 食品衛生分科会 農薬・動物用医薬品部会での説明資料「短期暴露量推計：JMPRの手法と所要データについて」に沿って、短期暴露評価の試算を行うことにより、今後必要と考えられる農作物の使用方法等の見直しを行うことにより、基準値案の調整を図ることとしている。

### (3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限まで又は作物残留試験成績等のデータから推定され

る量のアセタミプリドが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大一日摂取量(TMDI))のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照（別紙3には、推定一日摂取量(EDI)を参考として併記した。）。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定のうえに行った。

	TMDI/ADI (%) <sup>注)</sup>
国民平均	20.9
幼小児(1~6歳)	41.7
妊婦	17.5
高齢者(65歳以上)	22.4

注) TMDI 試算は、基準値案×摂取量の総和として計算している。

- (4) 本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

アセタミプリド作物残留試験一覧表 (国内)

No	分類	農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm)	基準値の選定	暴露評価の代表値 (平均値)				
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数							
1	とうもろこし	とうもろこし (種子)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) GC	< 0.05	} ○	0.05			
							14日	圃場B (3回, 14日)	< 0.05					
		未成熟とうもろこし (種子)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) GC	< 0.05			/		
							14日	圃場B (3回, 14日)	< 0.05					
		未成熟とうもろこし (種子)	2	18%液剤	64倍 産薬用無入ヘリによる航空散布 3.2L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) HPLC	< 0.05				/	
							14日	圃場B (3回, 14日)	< 0.05					
2	小豆類	あずき (乾燥種実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150L/10a	3回	21日	圃場A (3回, 21日) HPLC	0.06	} ○	0.33			
							21日	圃場B (3回, 21日) GC	0.60					
3	ばれいしょ	ばれいしょ (塊茎)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200~300L/10a	3回	7日	圃場A (3回, 7日) GC 親	< 0.005	/	(剤型違い)			
							7日	圃場B (3回, 7~21日) GC 親	< 0.005					
		ばれいしょ (塊茎)	2	2%粒剤+20%水溶剤	6kg/10a (種穴混和処理1回) + 2000倍希釈液散布 (200L/10a, 3回)	1+3回	7日	圃場A (4回, 7日) HPLC	< 0.05			} ○	0.05	
							7日	圃場B (4回, 7日) GC	< 0.05					
		ばれいしょ (塊茎)	2	2%粒剤+18%液剤	6kg/10a 植溝土壌混和 3.2L/10a 64倍無入ヘリ散布	1+3回	7日	圃場A (4回, 7日) HPLC	< 0.05					} ○
							7日	圃場B (4回, 7日)	< 0.05					
4	さといも類 (含やつがしら)	さといも (塊茎)	2	2%粒剤	6kg/10a (播種散布処理)	1回	183日	圃場A (1回, 183日) HPLC	< 0.05	} ○	0.05			
							160日	圃場B (1回, 160日) GC	< 0.05					
5	やまいも (長いも)	やまのいも (塊根)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200L/10a	3回	7日	圃場A (3回, 7日) GC	0.01	} ○	0.01			
							14日	圃場B (3回, 14日)	0.01					
6	こんにゃくいも	こんにゃくいも (球茎)	2	2%粒剤	3kg/10a (株元土壌混和)	1回	136日	圃場A (1回, 136日) HPLC	< 0.05	} ○	0.05			
							134日	圃場B (1回, 134日) GC	< 0.05					
7	てんさい	てんさい (塊茎)	2	20%水溶剤	120倍, 6L/10a (#) (10a種付相当分苗床撒布)	1回	167日	圃場A (1回, 167日) (#) HPLC	< 0.05	} ○	0.05 (適用外使用)			
							162日	圃場B (1回, 162日) (#) GC	< 0.05					
8	だいこん類 (根) (含 ラディッシュ)	だいこん (根部)	2	2%粒剤	4kg/m <sup>2</sup> (播種処理) (#)	1回	42日	圃場A (1回, 42日) (#) 統一	0.03	} ○	0.02 (適用外使用)			
							70日	圃場B (1回, 70日) (#)	< 0.01					
		だいこん (根部)	2	20%水溶剤	2000倍散布 100~200L/10a	1回	14日	圃場A (1回, 14日) 統一	< 0.01			/		
							14日	圃場B (1回, 14日)	< 0.01					
		はつかだいこん (根部)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150L/10a	1回	14日	圃場A (1回, 14日) HPLC	< 0.01				/	
							14日	圃場B (1回, 14日)	< 0.01					

No	分類	農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm)	基準値の選定	暴露評価の代表値 (平均値)			
				剤型	使用量・使用方法	回数				経過日数		
9	だいこん類 (葉) (含 ラディッシュ)	だいこん (つみみ菜) (間引き菜)	2	2%粒剤	4kg/10a (播溝処理) (#)	1回	13日	圃場A (1回, 13日) (#) GC 親	1.98	○	L 19 (適用外使用)	
							12日	圃場B (1回, 12日) (#) GC 親	0.397			
		だいこん (葉部)	2	2%粒剤	4kg/10a (播溝処理) (#)	1回	1回	42日	圃場A (1回, 42日) (#) 統一	0.28	/	(適用外使用)
								70日	圃場B (1回, 70日) (#)	0.03		
だいこん (葉部)	2	20%水溶剤	2000倍散布 100~200L/10a	1回	1回	14日	圃場A (1回, 14日) 統一	0.06	/	(剤型違い)		
						14日	圃場B (1回, 14日)	0.24				
		はつかだいこん (葉部)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150L/10a	1回	14日	圃場A (1回, 14日) HPLC	< 0.05	/	/	
							14日	圃場B (1回, 14日)	< 0.05			
10	かぶ類 (根)	かぶ (根)	2	20%水溶剤	2000倍散布 306.8又は242.4L/10a	1回	21日	圃場A (1回, 21日) HPLC	0.02	} ○	0.02	
							21日	圃場B (1回, 21日)	0.02			
11	かぶ類 (葉)	かぶ (葉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 306.8又は242.4L/10a	1回	21日	圃場A (1回, 21日) HPLC	1.02	○	1.30	
							21日	圃場B (1回, 21日)	1.57			
12	西洋ワサビ	ワサビダイコン (根茎) 西洋わさび	2	20%水溶剤	2000倍散布 150L/10a	1回	7日	圃場A (1回, 7日) HPLC	< 0.01	} ○	0.01	
							7日	圃場B (1回, 7日)	< 0.01			
13	はくさい	はくさい (茎葉)	2	2%粒剤+20%水 溶剤	(2g/株) 植穴混和処理 (#) + 1000倍散布64~150L/10a(3回)	1+3回	14日	圃場A (4回, 14日) (#) 統一	0.15	○	0.17 (適用外使用)	
							14日	圃場B (4回, 14日) (#)	0.18			
14	キャベツ	キャベツ (葉球)	2	2%粒剤+20%水 溶剤	(2g/株) 植穴混和処理+1000倍 散布150L/10a(5回)	1+5回	7日	圃場A (6回, 7日) 統一	1.09	○	1.00	
							7日	圃場B (6回, 7日)	0.90			
		キャベツ (葉球)	2	2%粒剤+20%水 溶剤	(2g/株) 植穴混和処理+1000倍 散布150L/10a(3回)	1+3回	1+3回	14日	圃場A (4回, 14日) 統一	0.24	/	(7日目の データ無し)
								14日	圃場B (4回, 14日)	0.42		
(芽キャベツ)	メキャベツ (芽球)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200L/10a	1回	1回	6日	圃場A (1回, 6日) HPLC	< 0.05	○	0.08	
							7日	圃場B (1回, 7日)	0.10			
15	こまつな	こまつな (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150L/10a(1回)	1回	7日	圃場A (1回, 7日) HPLC	1.00	○	1.38	
							7日	圃場B (1回, 7日) GC	1.76			
16	きょうな	みずな (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 200L/10a(1回)	1回	7日	圃場A (1回, 7日) GC	1.00	○	1.63	
							7日	圃場B (1回, 7日)	2.25			
		みずな (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 200L/10a(2回)	2回 (#)	2回 (#)	7日	圃場A (2回, 7日) (#) GC	1.44	/	(適用外使用)
								7日	圃場B (2回, 7日) (#)	1.75		
17	チンゲンサイ	チンゲンサイ (茎葉)	2	2%粒剤+20%水 溶剤	(1g/株) 植穴混和処理+2000 倍散布200L/10a(1回)	1+1回	7日	圃場A (2回, 7日 → 14日) GC	2.72	○	1.97	
							7日	圃場B (2回, 7日)	1.22			
18	はなやさい (カリフラワー)	カリフラワー (花蕾)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200, 266, 7~300L/10a	3回	7日	圃場A (3回, 7日) HPLC	0.18	○	0.26	
							7日	圃場B (3回, 7日)	0.34			
19	はなやさい (ブロッコリー)	ブロッコリー (花蕾)	2	2%粒剤+20%水 溶剤	(2g/株) 植穴混和処理+1000倍 散布150L/10a(3回) (#)	1+3回	14日	圃場A (4回, 14日) (#) 統一	0.36	○	0.50 (適用外使用)	
							14日	圃場B (4回, 14日) (#)	0.64			



No	分類	農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm)	基準値の測定	暴露評価の代表値 (平均値)	
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
20	その他のアブラナ科野菜	非結球メキャベツ (えき芽葉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7日	圃場A (2回, 7日) HPLC	0.60	/	(検査部位の違い)
							7日	圃場B (2回, 7日)	0.68		
		非結球メキャベツ (本葉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7日	圃場A (2回, 7日) HPLC	0.88	○	1.87
							7日	圃場B (2回, 7日)	2.85		
		茎ブロッコリー [花蕾及び茎]	2	20%水溶剤	2000倍散布 (#) 200L/10a	2回	2日	圃場A (2回, 1日) (#) HPLC	0.40	/	(適用外使用)
					2日	圃場B (2回, 1日) (#)	0.12				
21	しゅんぎく	なずな (その他のアブラナ科野菜) (茎葉部)	2	20%水溶剤	8000倍散布 200L/10a	1回	7日	圃場A (1回, 7日) HPLC	0.24	/	
							7日	圃場B (1回, 7日)	0.48		
		ひこしまはるな (茎葉部)	2	2%粒剤	1g/株 植穴土壌混和	1回	53日	圃場A (1回, 53日) HPLC	< 0.1	/	
							54日	圃場B (1回, 54日)	< 0.1		
22	レタス (含 チシャ、サラダナ)	しゅんぎく (茎葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 300, 150L/10a	2回	14日	圃場A (2回, 14日) HPLC	2.02	○	1.21
							14日	圃場B (2回, 14日) GC	0.39		
		レタス (茎葉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 (#) 150~250L/10a (3回)	3回	7日	圃場A (3回, 7日) (#) GC	0.08	/	(適用外使用)
							7日	圃場B (3回, 7日) (#)	0.31		
レタス (茎葉)	2	2%粒剤+20%水溶剤	2g/株, 植穴混和 2000倍散布 200~800L/10a (3回)	1+3回	7日	圃場A (4回, 7日) GC	0.54	/			
					7日	圃場B (4回, 7日)	0.34				
		リーフレタス (茎葉)	2	20%水溶剤+2%粒剤	4000倍散布245~257, 1L/10a 0.5g/株 定植時株元散布	2回	7日	圃場A (2回, 7日) HPLC	1.68	/	
							7日	圃場B (2回, 7日)	1.48		
		ロメインレタス (茎葉)	2	20%水溶剤+2%粒剤	4000倍散布200又は300L/10a 0.5g/株 定植時株元散布	2回	7日	圃場A (2回, 7日 → 14日) HPLC	2.67	○	1.85
							7日	圃場B (2回, 7日)	1.02		
23	その他のさく科野菜	くさちしや (その他のサクラ科野菜) (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150L/10a	2回	7日	圃場A (2回, 7日) HPLC	< 0.05	/	
							7日	圃場B (2回, 7日)	< 0.05		
		ははこくさ (ゴギョウ) (茎葉部)	2	20%水溶剤	8000倍散布 200L/10a	1回	7日	圃場A (1回, 7日) HPLC	0.34	/	
							7日	圃場B (1回, 7日)	0.77		
		食用ぎく (その他のキク科野菜) (花弁)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150, 200L/10a (2回)	2回	14日	圃場A (2回, 14日) GC	1.26	○	0.87
					14日	圃場B (2回, 14日)	0.48				
		ふき (葉柄)	2	2%粒剤+20%水溶剤	2g/株 定植直後株元散布 3000倍300/10a, 2回散布	1+2回	14日	圃場A (3回, 14日) HPLC	0.10	/	
							14日	圃場B (3回, 14日)	0.06		
		ふき (葉柄)	2	2%粒剤	2g/株 株元散布	1回	82日	圃場A (1回, 82日) GC	< 0.05	/	
							100日	圃場B (1回, 100日)	< 0.05		

No	分類	農作物	試験圃 区数	試験条件			最大残留量 (ppm)		基準値 の選定	暴露評価の代表値 (平均値)	
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
24	たまねぎ	たまねぎ (鱗茎)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150L/10a	3回	7日	圃場A (3回, 7日) HPLC	< 0.05	○	0.05
							7日	圃場B (3回, 7日) GC	< 0.05		
25	ねぎ (含 リーキ)	葉ねぎ (茎葉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150L/10a(3回)	3回	7日	圃場A (3回, 7日) GC	0.14	○	0.15
							7日	圃場B (3回, 7日)	0.15		
		葉ねぎ (茎葉)	2	2%粒剤	6kg/10a株元処理	3回	7日	圃場A (3回, 7日) GC	< 0.05	/	(剤型違い)
							7日	圃場B (3回, 7日)	< 0.05		
		根深ねぎ (茎葉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150L/10a(3回)	3回	7日	圃場A (3回, 7日) GC	< 0.05	/	/
							7日	圃場B (3回, 7日)	< 0.05		
根深ねぎ (茎葉)	2	2%粒剤	6kg/10a株元処理	3回	7日	圃場A (3回, 7日) HPLC	< 0.05	/	/		
					7日	圃場B (3回, 7日) GC	< 0.05				
26	にら	にら (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150L/10a(3回)	3回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC	1.46	○	1.65
							1日	圃場B (3回, 1日) GC	1.84		
27	アスパラガス	アスパラガス (茎)	1	20%水溶剤	4000倍散布 400L/10a(1回)	2回	1日	圃場A (2回, 1日) HPLC	0.20	○	0.14
							1日	圃場B (2回, 1日) HPLC	0.07		
28	ワケギ	わけぎ (その他のゆり科野菜) (茎葉)	2	20%水溶剤+2% 粒剤	2000倍散布300又は278L/10a 6kg/10a散布	4回	7日	圃場A (4回, 7日) HPLC	1.36	○	0.75
							7日	圃場B (4回, 7日)	0.14		
		わけぎ (その他のゆり科野菜) (茎葉)	2	20%水溶剤+2% 粒剤	4000倍散布300又は278L/10a 6kg/10a散布	4回	7日	圃場A (4回, 7日) HPLC	0.40	/	(使用方法の違い)
							7日	圃場B (4回, 7日)	< 0.05		
29	その他のゆり科野菜	食用ゆり (鱗茎)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150, 200L/10a	4回	1日	圃場A (4回, 1日) HPLC	< 0.05	○	0.05
							1日	圃場B (4回, 1日)	< 0.05		
		らっきょう (その他のゆり科野菜) (鱗茎)	3	20%水溶剤	2000倍散布 150・200L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) GC	< 0.01	/	/
14日	圃場B (3回, 14日) HPLC						0.03				
14日	圃場A (3回, 14日) GC						< 0.02				
30	パセリ	パセリ (茎葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 200L/10a	1回	3日	圃場A (1回, 3日) GC	1.10	○	0.75
							3日	圃場B (1回, 3日)	0.39		
31	セロリ	セロリ (茎葉)	2	2%粒剤	0.5g/株 定植時植穴土壌混和	1回	7日	圃場A (1回, 7日) HPLC	< 0.05	/	/
							100日	圃場B (1回, 100日)	< 0.05		
31	セロリ	セロリ (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 250, 235L/10a	2回	7日	圃場A (2回, 7日) HPLC	0.85	○	0.58
							7日	圃場B (2回, 7日)	0.30		
32	みつば	みつば (茎葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 150, 200L/10a	1回	7日	圃場A (1回, 7日) GC	0.97	○	1.40
							7日	圃場B (1回, 7日)	1.82		

No	分類	農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm)	基準値の選定	暴露評価の代表値 (平均値)
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
33	トマト	ミニトマト (果実)	2	15%燻煙剤+2%粒剤	1g/株 (定植時植穴土壌混和・1回) + 燻煙処理 (50g/400m <sup>3</sup> )	1+3回	1日	圃場A (4回, 1日) HPLC 0.16	/	(剤型違い)
		ミニトマト (果実)	2	20%水溶剤+2%粒剤	2000倍散布300L/10a 1g/株 定植時植穴土壌混和	1+3回 (#)	1日	圃場A (4回, 1日) (#) HPLC 0.50	○	0.62 (適用外使用)
		ミニトマト (果実)	2	2%粒剤+1%粒剤	1g/株定植時植穴土壌混和+2g/株生育期株元散布	1+3回	1日	圃場A (4回, 1日) HPLC < 0.05	/	(剤型違い)
		トマト (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300L/10a	2回	1日	圃場A (2回, 7日) 統一 0.42	/	/
		トマト (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300L/10a	2回	1日	圃場B (2回, 1日) 0.23	/	
		トマト (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300L/10a	2回	1日	圃場A (2回, 1日) 統一 0.21	/	
		トマト (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300L/10a	2回	1日	圃場B (2回, 7日) 0.46	/	
		トマト (果実)	2	2%粒剤+20%水溶剤	2g/株 (1回) 2000倍散布 200L/10a (2回)	1+2回	1日	圃場A (2回, 1日) 統一 0.20	/	
トマト (果実)	2	2%粒剤+20%水溶剤	2g/株 (1回) 2000倍散布 200L/10a (2回)	1+2回	1日	圃場B (2回, 3日) 0.20	/			
トマト (果実)	2	15%くん煙剤	50g/400m <sup>3</sup> 燻煙	2回	1日	圃場A (2回, 1日) 統一 0.02	/			
トマト (果実)	2	15%くん煙剤	50g/400m <sup>3</sup> 燻煙	2回	1日	圃場B (2回, 1日 → 3日) 0.04	/			
34	ピーマン	ピーマン (果実)	2	2%粒剤	1g/株植穴土壌混和 (#)	1回	93日	圃場A (1回, 93日) (#) 統一 0.04	/	(適用外使用)
		ピーマン (果実)	2	2%粒剤	1g/株植穴土壌混和 (#)	1回	44日	圃場B (1回, 44日) (#) 0.15	/	
		ピーマン (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 (#) 250~300L/10a (3回) (#)	3回 (#)	1日	圃場A (3回, 1日) (#) 統一 2.33	/	(適用外使用により、評価対象より除外)
		ピーマン (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 (#) 250~300L/10a (3回) (#)	3回 (#)	1日	圃場B (3回, 1日) (#) 1.45	/	
		ピーマン (果実)	1	15%くん煙剤	50g/400m <sup>3</sup> 燻煙	3回 (#)	1日	圃場A (3回, 1日) (#) 統一 0.24	/	(適用外使用)
		ピーマン (果実)	1	15%くん煙剤	50g/400m <sup>3</sup> 燻煙	3回 (#)	1日	圃場A (3回, 3日) (#) 統一 0.20	/	
		ピーマン (果実)	2	2%粒剤	1g/株植穴土壌混和 (#)	1回	84日	圃場A (1回, 84日) (#) 統一 0.03	/	(適用外使用)
		ピーマン (果実)	2	2%粒剤	1g/株植穴土壌混和 (#)	1回	78日	圃場B (1回, 78日) (#) 0.01	/	
		ピーマン (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 200~400L/10a (3回)	2回	1日	圃場A (2回, 3日) 統一 0.18	/	(剤型違い)
ピーマン (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 200~400L/10a (3回)	2回	1日	圃場B (2回, 1日) 0.40	/			
34	ピーマン	ピーマン (果実)	2	2%粒剤+1%粒剤	0.5g/株定植時植穴土壌混和+2g/株生育期株元散布	1回+2回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC < 0.05	/	(使用方法の違い)
		ピーマン (果実)	2	2%粒剤+1%粒剤	0.5g/株定植時植穴土壌混和+2g/株生育期株元散布	1回+2回	1日	圃場B (3回, 1日) < 0.05	/	
		ピーマン (果実)	2	2%粒剤+15%くん煙剤	0.5g/株定植時植穴土壌混和+50g/400m <sup>3</sup> 燻煙処理	1回+2回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC 0.24	/	(使用方法の違い)
		ピーマン (果実)	2	2%粒剤+15%くん煙剤	0.5g/株定植時植穴土壌混和+50g/400m <sup>3</sup> 燻煙処理	1回+2回	1日	圃場B (3回, 1日) 0.14	/	
34	ピーマン	ピーマン (果実)	2	2%粒剤+20%水溶剤	0.5g/株定植時植穴土壌混和+4000倍希釈液150L又は220.4L/10a散布	1回+2回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC 0.32	/	0.38
		ピーマン (果実)	2	2%粒剤+20%水溶剤	0.5g/株定植時植穴土壌混和+4000倍希釈液150L又は220.4L/10a散布	1回+2回	1日	圃場B (3回, 1日) 0.43	○	

No	分類	農作物	試験圃 畝数	試験条件				最大残留量 (ppm)	基準値 の選定	暴露評価の代表値 (平均値)	
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
35	ナス	なす (果実)	2	2%粒剤	1g/株 (定植時植穴土壌混和)	1回	63日	圃場A (1回, 63日) 統一	0.04	/	(剤型違い)
							60日	圃場B (1回, 60日)	0.02		
		なす (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 300L/10a	3回	1日	圃場A (3回, 1日) GC 親	0.15	○	0.37
							1日	圃場B (3回, 1~3日) GC 親	0.54		
		なす (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 300L/10a	3回	1日	圃場A (3回, 1日) GC 親	0.50		
							1日	圃場B (3回, 1~7日) GC 親	0.27		
		なす (果実)	2	2%粒剤+20%水 溶剤	1g/株定植時植穴土壌混和+ 2000倍希釈液150L (※) 又は 400L/10a散布	1+3回	1日	圃場A (4回, 1日) (※) HPLC	0.50	/	(適用外使用)
					1日	圃場B (4回, 1日) (※)	0.27				
なす (果実)	2	2%粒剤+15% くん煙剤	1g/株定植時植穴土壌混和+ 50g/400m <sup>3</sup> 燻煙処理	1+3回	1日	圃場A (4回, 1日) HPLC	0.14	/	(剤型違い)		
					1日	圃場B (4回, 1日)	0.12				
なす (果実)	2	2%粒剤+1%粒剤	1g/株定植時植穴土壌混和+2g/ 株生育期株元散布	1+3回	1日	圃場A (4回, 1日) HPLC	< 0.05	/	(剤型違い)		
					1日	圃場B (4回, 1日)	< 0.05				
なす (果実)	2	15%くん煙剤	50g/400m <sup>3</sup> 燻煙	3回	1日	圃場A (3回, 1日 → 7日) 統一	0.07	/	(剤型違い)		
					1日	圃場B (3回, 1日 → 3日)	0.23				
36	その他のなす科野菜	とうがらし類 (その他のなす科野菜) (果実)	2	20%水溶剤	8000倍散布 200, 267, 56L/10a	2回	7日	圃場A (3回, 7日) HPLC	0.16	/	/
							7日	圃場B (3回, 7日)	0.07		
		ししとう (その他のなす科野菜) (果実)	2	20%水溶剤	8000倍散布 300L/10a	2回	7日	圃場A (2回, 7日 → 8日) HPLC	0.36	○	0.32
					7日	圃場B (2回, 7日)	0.28				
食用ほおずき (その他のなす科野菜) (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布200L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) GC	< 0.05	/	/		
					14日	圃場B (3回, 14日)	< 0.05				
37	きゅうり (含 ガーキン)	きゅうり (果実)	2	2%粒剤	1g/株 (株元処理)	1回	46日	圃場A (1回, 46日) 統一	0.09	/	(剤型違い)
							46日	圃場B (1回, 46日)	0.02		
		きゅうり (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 171~300L/10a	3回	1日	圃場A (3回, 1日) 統一	0.42	/	(剤型違い)
							1日	圃場B (3回, 1日 → 3日)	0.26		
		きゅうり (果実)	2	15%くん煙剤	50g/400m <sup>3</sup> 燻煙	3回	1日	圃場A (3回, 1日 → 3日) 統一	0.32	○	0.42
							1日	圃場B (3回, 1日)	0.52		
きゅうり (果実)	2	2%粒剤+1%粒剤	1g/株定植時株元散布+0.5g/株 収穫30日前株元散布+2g/株株元 散布	1+1+3回	1日	圃場A (5回, 1日) HPLC	0.10	/	(使用方法の違い)		
					1日	圃場B (5回, 1日)	< 0.05				
きゅうり (果実)	2	2%粒剤+15% くん煙剤	1g/株 (定植時株元散布・1回) 0.5g/株 (生育期株元散布) + 燻煙処理 (50g/400m <sup>3</sup> )	2+3回	1日	圃場A (5回, 1日) HPLC	0.20	/	(剤型違い)		
					1日	圃場B (5回, 1日)	0.06				
きゅうり (果実)	2	2%粒剤+20%水 溶剤	1g/株 (定植時株元散布・1回) 0.5g/株 (生育期株元散布) + 2000倍希釈液散布 (150~ 200L/10a, 3回)	2+3回	1日	圃場A (5回, 1日) HPLC	0.29	/	(使用方法の違い)		
					1日	圃場B (5回, 1日)	0.29				

No	分類	農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm)	基準値の選定	暴露評価の代表値 (平均値)
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
38	かぼちゃ (含 スカッシュ)	かぼちゃ (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300L/10a	2回	1日	圃場A (2回, 1日) HPLC < 0.05	○	0.13
		かぼちゃ (果実)	2	2%粒剤+20%水溶剤	1g/株 定植時覆穴土壌混和 2000倍散布300又は200L/10a	1+2回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC 0.06		
		ズッキーニ (果実)	2	15%燻煙成型剤	燻煙, 50g/400m <sup>3</sup>	2回	1日	圃場A (2回, 1日) LC-MS/MS < 0.01	/	/
40	スイカ (果実)	すいか (果実)	2	15%燻煙剤	50g/400m <sup>3</sup> 燻煙	3回	7日	圃場A (3回, 7日) 統一 0.06		
		すいか (果実)	2	2%粒剤+20%水溶剤	2g/株定植時覆穴土壌混和(※) +2000倍希釈液200L/10a散布	1+3回	3日	圃場A (4回, 3日→7日) (※) 統一 0.06	/	(適用外使用)
41	メロン類 (果実)	メロン (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布(※) 300, 200L/10a	3回	7日	圃場A (3回, 7日) (※) 統一 0.14		
		メロン (果実)	2	2%粒剤+20%水溶剤	0.5g/株定植時覆穴土壌混和+ 8000倍希釈液150~250L/10a散布	1+3回(※)	3日	圃場A (4回, 3日) (※) GC < 0.05	/	(適用外使用)
		メロン (果実)	2	15%燻煙剤	50g/400m <sup>3</sup> 燻煙	3回	7日	圃場A (3回, 7日) 統一 0.16		
42	その他のうり科野菜	にがうり (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 200L/10a	3回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC 0.16	○	0.18
		にがうり (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 200L/10a	3回	1日	圃場B (3回, 1日) 0.20		
43	ほうれん草	ほうれん草 (莖葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 150~200L/10a	2回	3日	圃場A (2回, 3日) HPLC 2.52	○	2.09
		ほうれん草 (莖葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 200L/10a	2回	3日	圃場A (2回, 3日) HPLC 13.0		
44	おくら	オクラ (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150L/10a(3回)	1~3回	1日	圃場A (2回, 1日) GC 0.18	○	0.30
		オクラ (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150L/10a(3回)	1~3回	1日	圃場B (2回, 1日) 0.41		
45	未成熟えんどう	さやえんどう (さや)	2	20%水溶剤	4000倍散布 300L/10a	3回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC 0.84	○	0.55
		さやえんどう (さや)	2	20%水溶剤	4000倍散布 300L/10a	3回	1日	圃場B (3回, 1日) 0.26		
46	未成熟インゲン	さやいんげん (さや)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150L/10a(3回)	3回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC 0.52	○	0.68
		さやいんげん (さや)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150~400L/10a(3回)	3回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC 0.50		
47	えだまめ	えだまめ (さや (未成熟だいず))	2	20%水溶剤	2000倍散布(※) 150L/10a(3回)	3回	7日	圃場A (3回, 7日) (※) HPLC 0.31	△	(適用外使用)
		えだまめ (さや (未成熟だいず))	2	20%水溶剤	2000倍散布(※) 150L/10a(3回)	3回	7日	圃場B (3回, 7日) (※) GC 1.48		
		えだまめ (さや)	2	2%粒剤+20%水溶剤	(3kg/10a)土壌混和+2000倍散布 150L/10a(※)	1+3回	7日	圃場A (4回, 7日) (※) HPLC 1.42	○	1.13 (適用外使用)
えだまめ (さや)	2	2%粒剤+20%水溶剤	(3kg/10a)土壌混和+2000倍散布 150L/10a(※)	1+3回	7日	圃場B (4回, 7日) (※) GC 0.83				

No	分類	農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm)	基準値の選定	暴露評価の代表値 (平均値)			
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数						
48	その他の野菜	エンサイ ( <small>その他の野菜</small> ) (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 200L/10a	2回	7日	圃場A (2回, 7日) GC (NPD)	0.42	/	/		
							7日	圃場B (2回, 7日)	2.03				
		みだんそう ( <small>その他の野菜</small> ) (葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150, 200L/10a	2回	7日	圃場A (2回, 7日) HPLC	1.62				
							7日	圃場B (2回, 7日)	1.94				
		つるな ( <small>その他の野菜</small> ) (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 300L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) HPLC	1.8			○	2.30
							14日	圃場B (3回, 14日)	2.8				
		モロヘイヤ (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布→2000倍 (#) 200L/10a	2回	21日	圃場A (1回, 21日) (#) HPLC	1.01	/	(適用外使用)		
					21日	圃場B (1回, 21日) (#)	0.52						
		やまのいも, のむかご むかご (珠芽)	2	20%水溶剤	4000倍散布 300L/10a	3回	21日	圃場A (3回, 21日) HPLC	0.15	/	/		
					21日	圃場B (3回, 21日)	0.08						
		食用さくら (葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 300L/10a	1回	3日	圃場A (1回, 3日) HPLC	1.22	/	/		
					3日	圃場B (1回, 3日)	0.33						
49	みかん	温州みかん (果肉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) 統一	0.17	○	0.10		
							14日	圃場B (3回, 14日)	0.02				
		温州みかん (果肉)	2	20%水溶剤	200倍樹幹散布 30L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) GC	< 0.05			/	(使用方法の違い)
						14日	圃場B (3回, 14日)	< 0.05					
			温州みかん (果肉)	2	15%燻煙剤	50g/400m <sup>3</sup> 燻煙	3回	3日	圃場A (3回, 3日) 統一	0.08	/	(剤型違い)	
						3日	圃場B (3回, 3日)	0.05					
	みかんの皮 (→ その他のスパイス)	温州みかん (果皮)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) 統一	2.76	△	2.0 (さんしょう 2.2)		
						14日	圃場B (3回, 14日 → 21日)	1.22					
温州みかん (果皮)		2	20%水溶剤	200倍樹幹散布 30L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) GC	< 0.05	/			(使用方法の違い)	
					14日	圃場B (3回, 14日)	< 0.05						
		温州みかん (果皮)	2	15%燻煙剤	50g/400m <sup>3</sup> 燻煙	3回	3日	圃場A (3回, 3日) 統一	1.54	/	(剤型違い)		
					3日	圃場B (3回, 3日)	0.74						
50	なつみかん	夏みかん (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) 統一	0.54	○	0.72		
							14日	圃場B (3回, 14日)	0.90				
		夏みかん (果実)	2	20%水溶剤	200倍樹幹散布 30L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) GC	< 0.05	/	(使用方法の違い)		
					14日	圃場B (3回, 14日)	< 0.05						
51	その他のかんきつ類果実	かぼす (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) 統一	0.88	○	0.71		
							14日	圃場B (3回, 14日)	0.53				
		かぼす (果実)	1	20%水溶剤	200倍樹幹散布 30L/10a	3回	16日	圃場A (3回, 16日) GC	< 0.05			/	(使用方法の違い)
					14日	圃場A (3回, 14日) GC	< 0.05						

No	分類	農作物	試験 回数	試験条件				最大残留量 (ppm)	基準値 の選定	暴露評価の代表値 (平均値)	
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
52	りんご	りんご (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400 L/10a	2回	14日	圃場A (2回、14日) 統一	0.19	/	(使用時期の違い)
							14日	圃場B (2回、14日)	0.44		
		りんご (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 500 L/10a	2回	7日	圃場A (2回、7日) HPLC	0.5		
							14日	圃場B (2回、14日)	< 0.2		
		りんご (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 500, 600 L/10a	2回	1日	圃場A (2回、1日) HPLC	0.41		
							1日	圃場B (2回、1日)	0.50		
りんご (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 500 L/10a	3回	1日	圃場A (3回、1日 → 7日) HPLC	0.39				
					1日	圃場B (3回、1日)	0.80				
53	日本なし	日本なし (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 350, 700 L/10a	2回	3日	圃場A (2回、3日) HPLC	0.18	/	(使用時期の違い)
							3日	圃場B (2回、3日)	0.28		
		なし (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400, 600 L/10a	2回	1日	圃場A (2回、1日) HPLC	0.28		
							1日	圃場B (2回、1日)	0.74		
		なし (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400 L/10a	2回	14日	圃場A (2回、14日) 統一	0.34		
							21日	圃場B (2回、21日)	0.12		
54	びわ	びわ (果肉)	1	20%水溶剤	2000倍散布 400 L/10a	3回	1日	圃場A (3回、1~7日) GC	< 0.01	○	0.02
							1日	圃場A (3回、1日) GC	0.02		
55	もも	もも (果肉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400 L/10a	3回	7日	圃場A (3回、7日) 統一	0.42	/	(使用時期の違い)
							7日	圃場B (3回、7日)	0.23		
		もも (果肉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400・500 L/10a	3回	3日	圃場A (3回、3日) HPLC	0.69		
							3日	圃場B (3回、3日)	0.36		
56	ネクタリン	ネクタリン (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 600, 700 L/10a	3回	3日	圃場A (3回、3日) HPLC	0.28	○	0.35
							3日	圃場B (3回、3日)	0.42		
57	スモモ (含 ブルーン)	すもも (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400 L/10a	2回	7日	圃場A (2回、7日) 統一	0.12	○	0.68
							7日	圃場B (2回、7日)	1.23		
58	ウメ	うめ (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400 L/10a	2回	7日	圃場A (2回、7日) 統一	1.10	○	0.86
							7日	圃場B (2回、7日→21日)	0.62		
59	おうとう (チェリー)	おうとう (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 500・700 L/10a	1回	3日	圃場A (1回、3日) HPLC	0.92	○	0.80
							3日	圃場B (1回、3日)	0.68		

No	分類	農作物	試験回数	試験条件				最大残留量 (ppm)	基準値の選定	暴露評価の代表値 (平均値)	
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
60	イチゴ	いちご (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150L/10a	2回	3日	圃場A (2回, 3日) 統一	0.18	/	(剤型違い)
		いちご (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150L/10a	2回	1日	圃場B (2回, 1日)	0.44		
		いちご (果実)	2	2%粒剤+20%水溶剤	(1g/株) 植穴混和処理+2000倍散布 200L/10a (2回)	1+2回	1日	圃場A (1+2回, 1日) GC	0.86	/	(使用方法の違い) 2000倍は 2圃場 4000倍は 1圃場
		いちご (果実)	2	2%粒剤+20%水溶剤	(1g/株) 植穴混和処理+2000倍散布 200L/10a (2回)	1+2回	1日	圃場B (1+2回, 1日)	0.78		
		いちご (果実)	1	2%粒剤+20%水溶剤	(1g/株) 植穴混和処理+4000倍散布 200L/10a (2回)	1+2回	1日	圃場A (1+2回, 1日) GC	0.70		
いちご (果実)	2	2%粒剤+20%水溶剤	(1g/株) 株元散布+2000倍散布 200L/10a (2回)	1+2回	1日	圃場A (1+2回, 1日) HPLC	0.46	○	0.92		
いちご (果実)	2	2%粒剤+20%水溶剤	(1g/株) 株元散布+2000倍散布 200L/10a (2回)	1+2回	1日	圃場B (1+2回, 1日) GC	1.38				
61	ブルーベリー	ブルーベリー (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 300L/10a	1回	1日	圃場A (1回, 1日) HPLC	< 0.5	○	0.75
		ブルーベリー (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 300L/10a	1回	1日	圃場B (1回, 1日) GC	1.0		
62	ブドウ	ぶどう・デラウェア (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 250L/10a	2回	14日	圃場A (2回, 14日) 統一	2.88	○	2.29
		ぶどう・デラウェア (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 250L/10a	2回	14日	圃場B (2回, 14日)	2.51		
		ぶどう・デラウェア (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200・250L/10a	2回	14日	圃場A (2回, 14日) 統一	1.47	/	(適用外使用)
		ぶどう・デラウェア (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200・250L/10a	2回	14日	圃場B (2回, 14日→11日) (#)	2.36		
		ぶどう・巨峰 (果実)	1	20%水溶剤	2000倍散布 250L/10a	2回	14日	圃場A (2回, 14日) 統一	0.24	/	(品種の違い)
		ぶどう (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300L/10a	3回 (#)	14日	圃場A (3回, 14日) (#) HPLC	0.98	/	(適用外使用)
ぶどう (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300L/10a	3回 (#)	14日	圃場B (3回, 14日) (#)	1.14				
63	かき	かき (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400, 420L/10a	3回	7日	圃場A (3回, 7日) 統一	0.40	○	0.30
		かき (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400, 420L/10a	3回	7日	圃場B (3回, 7日)	0.20		
64	キウイ	キウイフルーツ (果肉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 260, 500L/10a	3回	7日	圃場A (3回, 7日) HPLC	< 0.05	} ○	0.05
		キウイフルーツ (果肉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 260, 500L/10a	3回	7日	圃場B (3回, 7日)	< 0.05		
65	マンゴー	マンゴー (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300・700L/10a	3回	35日	圃場A (3回, 35日) LC-MS/MS	0.44	} ○	0.44 (適用外使用)
		マンゴー (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300・700L/10a	3回	21日 (#)	圃場B (3回, 21日) (#) GC	0.44		
66	パッションフルーツ	パッションフルーツ (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 312, 5, 267L/10a	2回	28日 (#)	圃場A (2回, 28日) (#) HPLC	0.04	○	0.17 (適用外使用)
		パッションフルーツ (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 312, 5, 267L/10a	2回	28日 (#)	圃場B (2回, 28日) (#)	0.30		



No	分類	農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm)	基準値の選定	暴露評価の代表値 (平均値)
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
67	その他の果実	いちじく (その他の果実) (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 400L/10a	3回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC 0.44	○	0.46
							1日	圃場B (3回, 7日) GC 0.47		
		アセロラ (その他の果実) (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 566, 220L/10a	2回	7日	圃場A (2回, 7日) HPLC 0.22	/	/
							7日	圃場B (2回, 7日) 0.40		
カリン (その他の果実) (果実)	2	20%水溶剤	1000倍散布40L/2樹(株) 2000倍散布・400L/10a	2回	14日	圃場A (2回, 14日) (#) HPLC 0.34	/	(適用外使用)		
					14日	圃場B (2回, 14日) (#) 0.24				
		あけび (その他の果実) (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 500L/10a	2回	7日	圃場A (2回, 7日) HPLC 0.17	/	/
						7日	圃場B (2回, 7日) < 0.05			
68	茶	茶 (荒茶)	2	20%水溶剤	4000倍散布 300L/10a	1回	13日	圃場A (1回, 13日) (#) 統一 9.88	/	(使用方法の違い)
							14日	圃場B (1回, 14日) 12.0		
		茶 (荒茶)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300L/10a	1回	13日	圃場A (1回, 13日) (#) 統一 19.8	○	(適用外使用) 20.6
					14日	圃場B (1回, 14日) 21.4				
		茶 (製茶)	2	18%液剤	2000倍散布 (#) 200L/10a	1回	7日	圃場A (1回, 7日) (#) HPLC 23.0	/	(適用外使用) 17.6
						7日	圃場B (1回, 7日) (#) 12.2			
69	その他のスパイス	さんしょう (その他のスパイス) (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 300L/10a	1回	7日	圃場A (1回, 7日) HPLC 2.0	○	2.15 (みかんの皮 2.0)
							7日	圃場B (1回, 7日→21日) 2.3		
		さんしょう (その他のスパイス) (果実)	2	20%水溶剤	200倍散布 20L/10a (樹幹散布)	3回	7日	圃場A (1回, 7日) LC/MS < 0.2	/	(使用方法の違い)
							7日	圃場B (1回, 7日) < 0.2		
		さんしょう (その他のハーブ) (葉部)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150L/10a	6回	45日	圃場A (6回, 45日) HPLC < 0.4	/	/
							45日	圃場B (6回, 45日) 1.2		
		しそ (その他のハーブ) (葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 200L/10a	2、3回	14日	圃場A (3回, 14日) (#) HPLC 0.50	/	(適用外使用)
							14日	圃場B (2回, 14日) 0.65		
		セージ (その他のハーブ) (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 300L/10a	3回	21日	圃場A (3回, 21日) HPLC 1.9	/	/
							21日	圃場B (3回, 21日) < 0.5		
セージ (その他のハーブ) (茎葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 300L/10a	3回	21日	圃場A (3回, 21日) HPLC 0.9	/	/		
					21日	圃場B (3回, 21日) < 0.5				
タイム (その他のハーブ) (茎葉及び花)	2	20%水溶剤	8000倍散布 300L/10a	3回	21日	圃場A (3回, 21日) HPLC 0.6	/	/		
					21日	圃場B (3回, 21日) 2.4				
オレガノ (その他のハーブ) (茎葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 300L/10a	3回	7日	圃場A (3回, 7日) HPLC 1.4	/	/		
					7日	圃場B (3回, 7日) 2.1				
あさつき (その他のハーブ) (茎葉)	2	20%水溶剤+2% 粒剤	6kg/10a植溝土壌混和 2000倍希釈液散布150~ 200L/10a	1+3回	7日	圃場A (4回, 7日) HPLC 0.42	/	/		
					7日	圃場B (4回, 7日) 0.56				
レモンバーム (その他のハーブ) (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 300L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) HPLC 2.4	/	/		
					14日	圃場B (3回, 14日) 0.5				

No	分類	農作物	試験 圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm)	基準値 の選定	暴露評価の代表値 (平均値)
				剤型	使用量・使用方法	回数			
70	その他のハーブ	はっか(スベアミント) (その他ハーブ) (茎葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 300L/10a	3回	7日 圃場A(3回,7日) HPLC 7日 圃場B(3回,7日)	2.4 2.3	○ 2.35
		はっか(スベアミント) (その他ハーブ) (茎葉)	2	20%水溶剤	<del>4000倍散布</del> (#) 300L/10a	3回	7日 圃場A(3回,7日) (#) HPLC 7日 圃場B(3回,7日) (#)	3.3 4.0	△ (適用外使用)
		タラゴン (その他ハーブ) (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150L/10a	2回	14日 圃場A(2回,14日) HPLC 14日 圃場B(2回,14日)	1.3 2.06	△
		チャービル (その他ハーブ) (茎葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 300L/10a	3回	21日 圃場A(3回,21日) HPLC 21日 圃場B(3回,21日)	1.0 1.6	△
		ディル (その他ハーブ) (茎葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 300L/10a	3回	21日 圃場A(3回,21日) HPLC 21日 圃場B(3回,21日)	< 0.5 0.46	△
		バジル (その他ハーブ) (茎葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 300L/10a	3回	21日 圃場A(3回,21日) HPLC 21日 圃場B(3回,21日)	1.9 1.5	△
		みょうが (その他ハーブ) (花穂)	2	15%燻煙成型剤	くん煙処理(50g/400m <sup>3</sup> )	3回	1日 圃場A(3回,1日) HPLC 1日 圃場B(3回,1日→3日)	< 0.04 0.03	△
		マジョラム (その他ハーブ) (茎葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 300L/10a	3回	14日 圃場A(3回,14日) HPLC 14日 圃場B(3回,14日)	0.5 2.8	△

(#) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

△印は同作物群の試験中で最大の残留値であるが、暴露量評価には、平均値として残留量の高い試験成績を用いている。(基準設定の代表値の○印と同様の基準値(案)となる。)

最大残留量欄の「統一」、「GC」、「HPLC」等は分析の種類、「親」は親化合物 アセタミプリドのみの分析値を示す。

※印の試験は、適用拡大の申請によるものではないとされ、農薬登録の際の登録保留基準(5ppm)を超える試験成績として示されていることから、短期暴露量推計の試算も参照しつつ、今後、残留基準値の検討、農林水産省での使用方法の評価を行うこととする。

なお、食品安全委員会農薬専門調査会の農薬評価書「アセタミプリド」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

アセタミプリド海外作物残留試験一覧表 (米国における作物残留試験結果)

No	分類	農作物	試験圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)	
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
1-1	レタス	レタス (外側葉込) 1997年 アメリカ合衆国 ECD-GC法	6	70%水和剤	0.075 Ib ai/A 8.41 g ai/10a 散布	5回	7日 7日 7日 7日 7日	圃場A: 0.650 (5回、7日) 圃場B: 0.140 (5回、7日) 圃場C: 0.376 (5回、7日) 圃場D: 0.277 (5回、7日) 圃場E: 0.423 (5回、7日) 圃場F: 0.676 (5回、7日)	
		レタス (外側葉込)	2	70%水和剤	0.075 Ib ai/A 8.41 g ai/10a	5回	7日 7日	圃場A: 0.061 (5回、7日) 圃場B: 0.257 (5回、7日)	
		レタス (外側葉を除く) 1997年 (アメリカ合衆国) ECD-GC法	6	70%水和剤	0.075 Ib ai/A 8.41 g ai/10a 散布	5回	7日 7日 7日 7日 7日	圃場A: 0.018 (5回、7日) 圃場B: 0.052 (5回、7日) 圃場C: < 0.01 (5回、7日) 圃場D: 0.060 (5回、7日) 圃場E: 0.170 (5回、7日) 圃場F: 0.274 (5回、7日)	
		レタス (外側葉を除く)	2	70%水和剤	0.075 Ib ai/A 8.41 g ai/10a	5回	7日 7日	圃場A: 0.014 (5回、7日) 圃場B: 0.010 (5回、7日)	
		サラダ菜 1997年 (アメリカ合衆国) ECD-GC法	6	70%水和剤	0.075 Ib ai/A 8.41 g ai/10a 散布	5回	7日 7日 7日 7日 7日	圃場A: 0.606 (5回、7日) 圃場B: 0.298 (5回、7日) 圃場C: 0.412 (5回、7日) 圃場D: 0.959 (5回、7日) 圃場E: 0.868 (5回、7日) 圃場F: 0.116 (5回、7日)	
1-2		サラダ菜 1998年	2	70%水和剤	0.075 Ib ai/A 8.41 g ai/10a	5回	7日 7日	圃場A: 0.106 (5回、7日) 圃場B: 0.457 (5回、7日)	
2	たまねぎ	たまねぎ (Bulb Onion) 2004年 (アメリカ合衆国) LC/MS/MS法	6	70%水和剤	0.148 Ib ai/A 12.69 g ai/10a 散布	4回	7日 7日 7日 7日 7日	圃場A: < 0.006 (5回、7日) 圃場B: < 0.006 (5回、7日) 圃場C: < 0.006 (5回、7日) 圃場D: 0.012 (5回、7日) 圃場E: < 0.006 (5回、7日) 圃場F: < 0.006 (5回、7日)	
3	ほうれんそう	ほうれん草 1997年 (アメリカ合衆国) ECD-GC法	5	70%水和剤	0.075 Ib ai/A 8.41 g ai/10a 散布	5回	7日 7日 7日 7日 7日	圃場A: 0.036 (5回、7日) 圃場B: 0.211 (5回、7日) 圃場C: 2.49 (5回、7日) 圃場D: 0.552 (5回、7日) 圃場E: 2.08 (5回、7日)	
		ほうれん草 1998年 (アメリカ合衆国)	3	70%水和剤	0.075 Ib ai/A 8.41 g ai/10a 散布	5回	7日 7日 7日	圃場A: 0.031 (5回、7日) 圃場B: 1.13 (5回、7日) 圃場C: 0.464 (5回、7日)	
4	ラズベリー	ラズベリー 2006年 (アメリカ合衆国) LC/MS/MS法	1	30%粒剤	0.1 Ib ai/A 11.21 g ai/10a 散布	5回	1日	圃場A: 1.054 (5回、1日)	
		ラズベリー 2004年 (アメリカ合衆国) LC/MS/MS法	1	70%水和剤	0.2 Ib ai/A (#) 0.1 Ib ai/A 22.42g ai/10a 11.21g ai/10a 散布	3回	1日	圃場A: 0.779 (#) (3回、1日)	

No	分類	農作物	試験 圃場	試験条件				最大残留量 (ppm)	
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
5	ブラックベリー	ブラックベリー 2003年	2	70%水和剤	0.1 lb ai/A 11.21 g ai/10a	5回	1日 1日	圃場A: 0.531 圃場B: 0.564	(5回、1日) (5回、1日)
		ブラックベリー 2004年 (アメリカ合衆国) LC/MS/MS	3	70%水和剤	0.1 lb ai/A 11.21 g ai/10a 散布	5回	1日 8日 7日	圃場A: 0.545 圃場B: 0.302 圃場C: 0.302	(5回、1日) (5回、8日) (5回、7日)
			1	70%水和剤	0.4 lb ai /A (除) 0.1 lb ai/A 45.28g ai /10a 11.21g ai/10a 散布	2回 (除)	2日 (#)	圃場A: 2.484	(2回(除)、2日(#))
6	ブルーベリー	ブルーベリー 2004年 (アメリカ合衆国) LC/MS/MS法	6	70%水和剤	0.1 lb ai/A 11.21 g ai/10a 散布	5回	1日	圃場A: 0.0867	(5回、1日)
							1日 1日 1日 1日 1日	圃場B: 0.475 圃場C: 0.616 圃場D: 0.493 圃場E: 0.200 圃場F: 0.247	(5回、1日) (5回、1日) (5回、1日) (5回、1日) (5回、1日)
7	綿実	綿実 1997年 アメリカ合衆国	12	70%水和剤	0.1 lb ai/A 11.21 g ai/10a 散布	4回	28日	圃場A: 0.023	(4回、28日)
							28日 28日 28日 28日 28日 28日 28日 28日	圃場B: < 0.01 圃場C: 0.10 圃場D: < 0.01 圃場E: 0.056 圃場F: 0.12	(4回、28日) (4回、28日) (4回、28日) (4回、28日) (4回、28日) (4回、28日) (4回、28日)
8	ペカン	ペカン (分析部位:Nut) 2003年 (アメリカ合衆国) LC/MS/MS法	6	70%水和剤	0.179 lb ai/A 20.07 g ai/10a 散布	4回	28日	圃場A: 0.10	(4回、28日)
							28日 28日 28日 28日 28日 28日	圃場B: 0.02 圃場C: 0.50 (*) 圃場D: 0.36 圃場E: 0.029 圃場F: 0.14	(4回、28日) (4回、28日) (4回、28日) (4回、28日) (4回、28日)
9	アーモンド	アーモンド (NutおよびHull) 2003年 (アメリカ合衆国) LC/MS/MS法	5	70%水和剤	0.179 lb ai/A 20.07 g ai/10a 散布	4回	28日	圃場A: 0.09	(4回、28日)
							28日	圃場B: 0.048	(4回、28日)
8	ペカン	ペカン (分析部位:Nut) 2003年 (アメリカ合衆国) LC/MS/MS法	6	70%水和剤	0.179 lb ai/A 20.07 g ai/10a 散布	4回	14日	圃場A: < 0.01	(4回、14日)
							14日 14日 14日 14日 14日	圃場B: < 0.01 圃場C: < 0.01 圃場D: 0.047 圃場E: 0.009 圃場F: < 0.01	(4回、14日) (4回、14日) (4回、14日) (4回、14日) (4回、14日)
9	アーモンド	アーモンド (NutおよびHull) 2003年 (アメリカ合衆国) LC/MS/MS法	5	70%水和剤	0.179 lb ai/A 20.07 g ai/10a 散布	4回	14日	Nut*1: 圃場A: 0.022	(4回、14日)
							14日 14日 14日 14日 14日	圃場B: 0.012 圃場C: < 0.01 圃場D: 0.010 圃場E: < 0.01	(4回、14日) (4回、14日) (4回、14日) (4回、14日)
10	その他のハーブ	エシャロット (Green Onion) 1998年	3	70%水和剤	0.075 lb ai/A 8.41 g ai/10a 散布	5回	14日	Hull*2: 圃場A: 1.90	(4回、14日)
							14日 14日	(参考) 圃場B: 3.83 圃場C: 0.222 圃場D: 1.99 圃場E: 0.779	(4回、14日) (4回、14日) (4回、14日) (4回、14日)
10	その他のハーブ	エシャロット (Green Onion) 1998年	3	70%水和剤	0.075 lb ai/A 8.41 g ai/10a 散布	5回	7日	圃場A: 0.050	(5回、7日)
							7日	圃場B: 1.960	(5回、7日)
							7日	圃場C: 0.384	(5回、7日)

(#) これらの作物残留試験は、作物残留試験が実施された国の使用方法の範囲内で試験が行われていない。  
(除) 登録内容・使用基準との対応が確認できないことから、評価対象から除外。  
(\*) スミルノフの棄却検定 ( $\alpha=0.05$ ) での外れ値  
\*1:Nut ナッツ\*2:Hull 外皮

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	国際 基準 ppm	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
					外国 基準値 ppm		
米							
小麦		0.2	○				
大麦		0.2	○				
ライ麦		0.2	○				
とうもろこし	0.2	0.2	○				<0.05, <0.05
そば		0.2	○				
その他の穀類		0.2	○		3 加 (Amaranth)		
大豆		2	○				0.05, 0.60
小豆類	2	2	○				
えんどう		2	○	0.4	米 (Pea and bean, succulent shelled)		
そらまめ		2	○	0.4	米 (Pea and bean, succulent shelled)		
らつかせい		2	○				
その他の豆類		2	○				
ばれいしょ	0.2	0.5	○		0.05 薯 (Potato)		<0.05, <0.05
さといも類	0.2	0.5	○				<0.05, <0.05
かんしょ		0.5	○				
やまいも	0.05	0.5	○				0.01, 0.01
こんにゃくいも	0.2	0.5	○				<0.05, <0.05
その他のいも類		0.5	○				
てんさい	0.2	0.2	○				<0.05 (#), <0.05 (#)
さとうきび		0.2	○				
だいこん類(ラディッシュを含む)の根	0.2	0.5	○	0.01	米 (Vegetable, tuberous and corm)		0.03 (#), <0.01 (#)
だいこん類(ラディッシュを含む)の葉	5	5	○	1.2	米 (Vegetable, brassica, leafy)		1.98 (#), 0.397 (#)
かぶ類の根	0.1	0.1	○	0.01	米 (Vegetable, tuberous and corm)		0.02, 0.02
かぶ類の葉	5	5	○	1.2	米 (Vegetable, brassica, leafy)		1.02, 1.57
西洋わさび	0.05	0.1	○	0.01	米 (Vegetable, tuberous and corm)		<0.01, <0.01
クレソン		5	○	3	加 (Upland cress)		
はくさい	0.5	5	○	1.2	米 (Vegetable, brassica, leafy). 加 (Napa Chinese cabbages)		0.15 (#), 0.18 (#)
キャベツ	3	5	○	1.2	米 (Vegetable, brassica, leafy). 加 (Cabbages)		1.09, 0.90
芽キャベツ	0.3	5	○	1.2	米 (Vegetable, brassica, leafy). 加 (Brussels sprouts)		<0.05, 0.10
ケール	5	5	○	1.2	米 (Vegetable, brassica, leafy). 加 (Kale)		登録作物群; 非結球アブラナ科 葉菜類(こまつな, チンゲンサイ)
こまつな	5	5	○	1.2	米 (Vegetable, brassica, leafy). 加 (Collards)		1.00, 1.76
きょうな	5	5	○	1.2	米 (Vegetable, brassica, leafy)		1.00, 2.25
チンゲンサイ	5	5	○	1.2	米 (Vegetable, brassica, leafy). 加 (Bok choy Chinese cabbages)		2.72, 1.22
カリフラワー	1	5	○	1.2	米 (Vegetable, brassica, leafy). 加 (Cauliflower)		0.18, 0.34
ブロッコリー	2	5	○	1.2	米 (Vegetable, brassica, leafy). 加 (Cauliflower)		0.36 (#), 0.64 (#)
その他のあぶらな科野菜	5	5	○	3	加 (Garden cress)		0.88, 2.85 (非結球キャベツ)
ごぼう		0.1	○	0.01	米 (Vegetable, tuberous and corm)		
サルシフィー		0.1	○	0.01	米 (Vegetable, tuberous and corm)		
アーティチョーク		5	○	0.01	米 (Vegetable, tuberous and corm)		
チコリ		5	○	3	米 (Vegetable, leafy, except brassica). 加 (Radicchio)		
エンダイブ		5	○	3	米 (Vegetable, leafy, except brassica). 加 (Endival)		
しゅんぎく	5	5	○	3	米 (Vegetable, leafy, except brassica). 加 (Garland chrysanthemum)		2.02, 0.39
レタス	5	5	○	3	米 (Vegetable, leafy, except brassica). 加 (Head lettuce, Leaf lettuce)		2.67, 1.02 (ロメインレタス)
その他のきく科野菜	3	5	○	3	米 (Vegetable, leafy, except brassica). 加 (Cardoon, Edible leaved chrysanthemum)		【米国】レタス <0.01~0.274 (n=8), サラダ菜 0.106~0.959 (n=8) 1.28, 0.48 (食用キク)
たまねぎ	0.2	0.2	○	0.02	米 (Onion, bulb)		<0.05, <0.05
ねぎ	0.5	5	○	4.5	米 (Onion, green)		【米国】 <0.006 (n=5), 0.012
にんにく		0.2	○	0.02	米 (Onion, bulb)		0.14, 0.15
にら	5	5	○	4.5	米 (Onion, green)		1.84, 1.46
アスパラガス	0.5	5	○				0.20, 0.07
わけぎ	3	5	○	4.5	米 (Onion, green)		1.36, 0.14
その他のゆり科野菜	0.2	5	○	4.5	米 (Onion, green)		<0.05, <0.05 (食用ユリ)
にんじん		0.1	○	0.01	米 (Vegetable, tuberous and corm)		
パースニップ		0.1	○	0.01	米 (Vegetable, tuberous and corm)		
パセリ	3	5	○	3	米 (Vegetable, leafy, except brassica). 加 (Fresh parsley leaves)		1.10, 0.39
セロリ	2	5	○・申	3	米 (Vegetable, leafy, except brassica). 加 (Celery)		0.85, 0.30
みつば	5	5	○	3	米 (Vegetable, leafy, except brassica). 加 (Chinese celery)		0.97, 1.82
その他のせり科野菜		5	○	3	米 (Vegetable, leafy, except brassica). 加 (Chinese celery)		
トマト	2	5	○・申	0.2	米 (Vegetable, fruiting) 加 (Tomatoes)		0.50 (#), 0.73 (#)
ピーマン	1	5	○・申	0.2	米 (Vegetable, fruiting) 加 (Bell peppers)		0.32, 0.43
なす	1	5	○・申	0.2	米 (Vegetable, fruiting) 加 (Eggplants)		0.15, 0.54, 0.50, 0.27
その他のなす科野菜	1	2	○	0.2	加 (Non-bell peppers, Tomatillos)		0.36, 0.28 (シトウ)

農産物名	基準値 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm	
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
きゅうり	2	5	○・申		0.5	* (Vegetable, cucurbit)	0.32, 0.52
かぼちや	0.7	2	○		0.5	* (Vegetable, cucurbit)	0.21, <0.05
しろろり		2	○		0.5	* (Vegetable, cucurbit)	
すいか	0.3	0.5	○		0.5	* (Vegetable, cucurbit)	0.06, 0.09
メロン類果実	0.5	1	○		0.5	* (Vegetable, cucurbit)	0.16, 0.14
まくわうり		1	○		0.5	* (Vegetable, cucurbit)	
その他のうり科野菜	0.5	2	○		0.5	* (Vegetable, cucurbit)	0.16, 0.20 (にがうり)
ほうれんそう	5	5	○		3	* (Vegetable, leafy, except brassica), 加 (Spinach, New Zealand spinach)	2.52, 1.66
たけのこ		0.1	○		0.01	* (Vegetable, tuberous and corn)	【米国】0.031~2.49 (n=8)
オクラ	1	1	○				0.41, 0.18
しよが		0.1	○		0.01	* (Vegetable, tuberous and corn)	
未成熟えんどう	2	5	○		0.6	* (Vegetable, legume, edible podded)	0.84, 0.26
未成熟いんげん	3	5	○		0.6	* (Vegetable, legume, edible podded)	1.45, 0.50, 0.52, 0.26
えだまめ	3	5	○		0.6	* (Vegetable, legume, edible podded)	1.42 (♯), 0.83 (♯)
マッシュルーム							
しいたけ							
その他のきのこ類							
その他の野菜	5	5	○・申		3	* (Vegetable, leafy, except brassica), 加 (Garden purslane, Orch leaves, Swiss chard, Vine spinach, Winter purslane)	1.8, 2.8 (ツルナ) (申; モロヘイタ)
みかん	0.5	1	○		0.5	* (Fruit, citrus), 加 (Satsuma mandarins)	0.17, 0.02
なつみかん							
なつみかんの外果皮	2	5	○		0.5	* (Fruit, citrus)	0.54, 0.90
なつみかんの果実全体	2	5	○		0.5	* (Fruit, citrus), 加 (Lemons)	
レモン	2	5	○		0.5	* (Fruit, citrus), 加 (Oranges)	登録作物群; かんきつ (なつみかんの果実全体)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む)	2	5	○		0.5	* (Fruit, citrus), 加 (Grapefruit, Pomegranate)	
グレープフルーツ	2	5	○		0.5	* (Fruit, citrus), 加 (Limes)	
ライム	2	5	○		0.5	* (Fruit, citrus), 加 (Calamondin, Citrus citrons, Citrus hybrids, Kumquats, Tangerines)	
その他のかんきつ類果実	2	5	○		0.5		0.88, 0.53 (カボス)
りんご	2	5	○		1	* (Fruits, pome), 加 (Apples, Crabapples)	0.39, 0.80
日本なし	2	5	○		1	* (Fruits, pome), 加 (Oriental pears)	0.28, 0.74
西洋なし	2	5	○		1	* (Fruits, pome), 加 (Pears)	登録作物群; なし (日本なし)
マルメロ		1	○		1	* (Fruits, pome), 加 (Quinces)	
びわ	0.1	1	○		1	加 (Loquats)	<0.01, 0.02
もも	2	5	○		1.2	* (Fruit, stone, except plum, prune)	0.69, 0.36
ネクタリン	1	1	○		1.2	* (Fruit, stone, except plum, prune)	0.28, 0.42
あんず(アブリコットを含む)	3	5	○		0.2	* (Plum, prune, fresh)	登録作物群; 小粒核果類 (すもも)
すもも(プルーンを含む)	3	5	○		0.2	* (Plum, prune, fresh)	0.12, 1.23
うめ	3	5	○				1.10, 0.62
おうとう(チェリーを含む)	2	5	○		1.2	* (Fruit, stone, except plum, prune)	0.92, 0.68
いちご	3	5	○		0.6	* (Berry, low growing subgroups)	0.46, 1.38
ラズベリー	1.6	5	○		1.6	* (Caneberry subgroup)	【米国】1.054, 0.779 (♯) 登録作物群; ベリー類 (ブラックベリー)
ブラックベリー	1.6	5	○		1.6	* (Caneberry subgroup)	【米国】0.302~0.564 (n=5)
ブルーベリー	2	5	○		1.6	* (Bushberry subgroup)	<0.5, 1.0 【米国】0.0867~0.616 (n=6)
クランベリー		5	○		0.6	* (Berry, low growing subgroups)	
ハuckleベリー		5	○		1.6	* (Bushberry subgroup)	
その他のベリー類果実	2	5	○		1.6	* (Bushberry, Caneberry, subgroup)	登録作物群; ベリー類 (ブルーベリー)
ぶどう	5	5	○		0.2	* (Grape), 加 (Grapes)	2.88, 2.51, 1.47
かき	1	1	○				0.40, 0.20
バナナ							
キウイ	0.2	1	○				<0.05, <0.05
パパイヤ		1	○				
アボカド		1	○				
パイナップル		1	○				
グアバ		1	○				
マンゴー	1	1	○				0.44, 0.44 (♯)
パッションフルーツ	0.7	1	○				0.04 (♯), 0.30 (♯)
なつめやし		5	○				
その他の果実	1	5	○		1	加 (Mayhaws)	0.44, 0.47 (イチジク)

農産物名	基準値 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
ひまわりの種子 ごまの種子 へにばなの種子 綿実	0.6	0.3			0.6 米 (Cotton, undelimited seed) 加 (Undelimited cotton seeds) 0.05 菜 (Cotton seed) 0.01 米 (Canola, seed), 加 (Rapeseed (canola))	【米国】 <0.01~0.50 (n=14)
なたね その他のオイルシード		0.01 0.01				
ざんなん くり ペカン アーモンド くるみ その他のナッツ類	0.1 0.1				0.1 米 (Nut, tree) 0.1 米 (Nut, tree) 0.1 米 (Nut, tree) 5 米 (Almond, hulls) 0.1 米 (Nut, tree) 0.1 米 (Nut, tree, Pistachio)	【米国】 0.009~0.047 (n=6) 【米国】 Nut; <0.01~0.022 (n=6)
茶 コーヒー豆 カカオ豆 ホップ	30	50	○・申			19.8(#), 21.4 (荒茶)
その他のスパイス	5	5	○		0.2 加 (Pepper hybrids)	2.0, 2.3 (さんしょう) (みかんの皮 2.76, 1.22)
その他のハーブ	5	5	○		3 加 (Argula, Corn salad, Dandelion leaves, Fresh chervil leaves, Fresh Florence fennel leaves and stalks)	2.4, 2.3 (はっか (スベアミント)) 【米国】 エシャロット 0.050~1.960 (n=6)
牛の筋肉 豚の筋肉 その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.1 0.1 0.1	0.06 0.06 0.06			0.1 米 (Cattle, meat), 加 (Meat of cattle) 0.1 米 (Hog, meat), 加 (Meat of hogs) 0.1 米 (Goat, Sheep, meat), 加 (Meat of goats, Meat of sheep) 0.1 米 (Horse, meat), 加 (Meat of horses) 0.01 菜 (Meat (mammalian))	
牛の脂肪 豚の脂肪 その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪		0.1 0.1 0.1			0.1 米 (Cattle, fat), 加 (Fat of cattle) 0.1 米 (Hog, fat), 加 (Fat of hogs) 0.1 米 (Goat, Sheep, fat), 加 (Fat of goats, Fat of sheep) 米 (Horse, fat), 加 (Fat of horses)	
牛の肝臓 豚の肝臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓 牛の腎臓 豚の腎臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓 牛の食用部分 豚の食用部分 その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分		0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1			0.05 菜 (Edible offal (mammalian)) 0.05 菜 (Edible offal (mammalian)) 0.05 菜 (Edible offal (mammalian))	
乳 (牛乳、めん羊乳、山羊乳)	0.1	0.06			0.1 米 (Milk), 加 (Milk)	
鶏の筋肉 その他の家禽の筋肉 鶏の脂肪 その他の家禽の脂肪 鶏の肝臓 その他の家禽の肝臓 鶏の腎臓 その他の家禽の腎臓 鶏の食用部分 その他の家禽の食用部分 鶏の卵 その他の家禽の卵	0.01 0.01 0.01 0.01 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.01 0.01	0.01 0.01 0.01 0.01 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.05 0.01 0.01			0.05 菜 (Poultry, meat) 0.05 菜 (Poultry, meat) 0.01 米 (Poultry, fat), 加 (Fat of poultry) 0.01 米 (Poultry, fat), 加 (Fat of poultry) 0.05 米 (Poultry, Liver), 加 (Liver of poultry) 0.05 米 (Poultry, Liver), 加 (Liver of poultry) 0.05 菜 (Poultry, Edible offal of) 0.05 菜 (Poultry, Edible offal of) 0.01 米 (Eggs), 菜 (Eggs), 加 (Eggs) 0.01 米 (Eggs), 菜 (Eggs), 加 (Eggs)	
魚介類						

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において設定された基準値については、網をつけて示した。

【国名】として、基準設定の根拠とされた海外作物残留試験(米国)の該当結果を示す。

(#) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

アセタミプリド 推定摂取量 (単位:  $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$ )

食品群	基準値 案 (ppm)	暴露評価 に 用いた数 値 (ppm)	国民平 均 TMDI	国民平 均 EDI	幼小児 (1~6 歳) TMDI	幼小児 (1~6 歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以 上) TMDI	高齢者 (65歳以 上) EDI
とうもろこし	0.2	0.05	0.5	0.1	0.9	0.2	0.5	0.1	0.2	0.0
小豆類	2	0.33	2.8	0.5	1.0	0.2	0.2	0.0	5.4	0.9
ばれいしょ	0.2	0.05	7.3	1.8	4.3	1.1	8.0	2.0	5.4	1.4
さといも類	0.2	0.05	2.3	0.6	1.1	0.3	1.6	0.4	3.5	0.9
やまいも (長いも)	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
こんにゃくいも	0.2	0.05	2.6	0.6	1.1	0.3	2.2	0.6	2.7	0.7
てんさい	0.2	0.05	0.9	0.2	0.7	0.2	0.7	0.2	0.8	0.2
だいこん類 (ラディッシュを含む) の根	0.2	0.02	9.0	0.9	3.7	0.4	5.7	0.6	11.7	1.2
だいこん類 (ラディッシュを含む) の葉	5	1.19	11.0	2.6	2.5	0.6	4.5	1.1	17.0	4.0
かぶ類の根	0.1	0.02	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
かぶ類の葉	5	1.30	2.5	0.6	0.5	0.1	1.5	0.4	5.5	1.4
西洋わさび	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.5	0.17	14.7	5.0	5.2	1.8	11.0	3.7	15.9	5.4
キャベツ	3	1.00	68.4	22.8	29.4	9.8	68.7	22.9	59.7	19.9
芽キャベツ	0.3	0.08	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	5	5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
こまつな	5	1.38	21.5	5.9	10.0	2.8	8.0	2.2	29.5	8.1
きょうな	5	1.63	1.5	0.5	0.5	0.2	0.5	0.2	1.5	0.5
デンゲンサイ	5	1.97	7.0	2.8	1.5	0.6	5.0	2.0	9.5	3.7
カリフラワー	1	0.26	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
ブロッコリー	2	0.50	9.0	2.3	5.6	1.4	9.4	2.4	8.2	2.1
その他のあぶらな科野菜	5	1.87	10.5	3.9	1.5	0.6	1.0	0.4	15.5	5.8
しゅんぎく	5	1.21	12.5	3.0	3.0	0.7	9.5	2.3	18.5	4.5
レタス	5	1.85	30.5	11.3	12.5	4.6	32.0	11.8	21.0	7.8
その他きく科野菜	3	0.87	1.2	0.3	0.3	0.1	1.5	0.4	2.1	0.6
たまねぎ	0.2	0.05	6.1	1.5	3.7	0.9	6.6	1.7	4.5	1.1
ねぎ (リーキ)	0.5	0.15	5.7	1.7	2.3	0.7	4.1	1.2	6.8	2.0
にら	5	1.65	8.0	2.6	3.5	1.2	3.5	1.2	8.0	2.6
アスパラガス	0.5	0.14	0.5	0.1	0.2	0.0	0.2	0.1	0.4	0.1
フケギ	3	0.75	0.6	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1	0.9	0.2
その他のゆり科野菜	0.2	0.05	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1
パセリ	3	0.75	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
セロリ	2	0.58	0.8	0.2	0.2	0.1	0.6	0.2	0.8	0.2
みつば	5	1.40	1.0	0.3	0.5	0.1	0.5	0.1	1.0	0.3
トマト	2	0.62	48.6	15.1	33.8	10.5	49.0	15.2	37.8	11.7
ピーマン	1	0.38	4.4	1.7	2.0	0.8	1.9	0.7	3.7	1.4
ナス	1	0.37	4.0	1.5	0.9	0.3	3.3	1.2	5.7	2.1
その他ナス科野菜	1	0.32	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1
きゅうり	2	0.42	32.6	6.8	16.4	3.4	20.2	4.2	33.2	7.0
カボチャ	0.7	0.13	6.6	1.2	4.1	0.8	4.8	0.9	8.1	1.5
ずいか	0.3	0.08	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メロン類	0.5	0.15	0.2	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
その他ウリ科野菜	0.5	0.18	0.3	0.1	0.1	0.0	1.2	0.4	0.4	0.1
ほうれん草	5	2.09	93.5	39.1	50.5	21.1	87.0	36.4	108.5	45.4
オクラ	1	0.30	0.3	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1
未成熟えんどう	2	0.55	1.2	0.3	0.4	0.1	1.4	0.4	1.2	0.3
未成熟インゲン	3	0.68	5.7	1.3	3.6	0.8	5.4	1.2	5.4	1.2
えだまめ	3	1.13	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
その他の野菜	5	2.30	63.0	29.0	48.5	22.3	48.0	22.1	61.0	28.1
みかん	0.5	0.10	20.8	4.0	17.7	3.4	22.9	4.4	21.3	4.0
なつみかんの果実全体	2	0.72	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
レモン	2	2	0.6	0.6	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6
オレンジ	2	2	0.8	0.8	1.2	1.2	1.6	1.6	0.4	0.4
グレープフルーツ	2	2	2.4	2.4	0.8	0.8	4.2	4.2	1.6	1.6
ライム	2	2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
その他のかんきつ類果実	2	0.71	0.8	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1	1.2	0.4
りんご	2	0.60	70.6	21.2	72.4	21.7	60.0	18.0	71.2	21.4
日本なし	2	0.51	10.2	2.6	8.8	2.2	10.6	2.7	10.2	2.6
西洋なし	2	2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
びわ	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
もも	2	0.53	1.0	0.3	1.4	0.4	8.0	2.1	0.2	0.1
ネクタリン	1	0.35	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
アンズ (含アブリコット)	3	3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
スモモ	3	0.68	0.6	0.1	0.3	0.1	4.2	1.0	0.6	0.1
ウメ	3	0.86	3.3	0.9	0.9	0.3	4.2	1.2	4.8	1.4
おうとう	2	0.80	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
イチゴ	3	0.92	0.9	0.3	1.2	0.4	0.3	0.1	0.3	0.1
ラズベリー	1.6	0.92	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1



食品群	基準値 案 (ppm)	暴露評価 に 用いた数 値 (ppm)	国民平 均 TMDI	国民平 均 EDI	幼小児 (1~6 歳) TMDI	幼小児 (1~6 歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以 上) TMDI	高齢者 (65歳以 上) EDI
ブラックベリー	1.6	0.45	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
ブルーベリー	2	0.75	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
その他ベリー類	2	● 2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
ブドウ	5	2.29	29.0	13.3	22.0	10.1	8.0	3.7	19.0	8.7
かき	1	0.30	31.4	9.4	8.0	2.4	21.5	6.5	49.6	14.9
キウイ	0.2	0.05	0.4	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0.4	0.1
マンゴー	1	0.44	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
パッションフルーツ	0.7	0.17	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他の果実	1	0.46	3.9	1.8	5.9	2.7	1.4	0.6	1.7	0.8
綿実(種子)	0.6	0.12	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ペカン	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.1	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	30	20.6	90.0	61.8	42.0	28.8	105.0	72.1	129.0	88.6
その他のスパイス	5	2.15	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2
その他のハーブ	5	2.4	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2
陸棲ほ乳類の肉類	0.1	☆ 1.1	5.8	63.3	3.3	36.2	6.1	66.6	5.8	64.2
陸棲ほ乳類の乳類	0.1	● 0.1	14.3	14.3	19.7	19.7	18.3	18.3	14.5	14.5
家禽の肉類	0.01	● 0.01	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
家禽の卵類	0.01	● 0.01	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4
計	-	-	791.4	369.5	468.1	223.0	692.3	347.7	860.2	402.6
ADI比 (%)	-	-	20.9	9.8	41.7	19.9	17.5	8.8	22.4	10.5

●印は、個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うに当たり、基準値(案)の数値を用いた。  
☆印は、牛肉中の代謝物 IM-2-2 (IM-2-1 - amide) の残留も勘案し、基準値(案)の11倍の暴露量をもって推計。  
(EPA 11/5/2004 MEMORANDUM)

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)  
EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

(参考)

これまでの経緯

- 平成 7年11月28日 初回農薬登録
- 平成 9年 9月 1日 ばれいしょ等24農作物に食品衛生法に基づく残留農薬基準を設定
- 平成11年 8月24日 環境庁登録保留基準の改定(第二葉菜類等)
- 平成17年11月29日 食品衛生法改正に伴う残留農薬基準の告示
- 平成20年 2月12日 厚生労働大臣から食品安全委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
- 平成20年 2月14日 第226回 食品安全委員会(要請事項説明)
- 平成20年 5月13日 第21回 農薬専門調査会総合評価第一部会
- 平成20年 6月 3日 第39回 農薬専門調査会幹事会
- 平成20年 6月19日 第243回 食品安全委員会(報告)
- 平成20年 6月19日～ 7月18日 国民からの意見・情報の募集
- 平成20年 8月 6日 第24回 農薬専門調査会 総合評価第一部会
- 平成20年 8月26日 農薬専門調査会座長より食品安全委員会委員長への報告
- 平成20年 8月28日 第252回 食品安全委員会(報告)
- 平成20年 8月29日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
- 平成20年12月 4日 薬事・食品衛生審議会 食品衛生分科会へ諮問
- 平成20年12月 9日 薬事・食品衛生審議会 食品衛生分科会 農薬・動物用医薬品部会

●薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- 青木 宙 東京海洋大学 大学院海洋科学技術研究科 教授
- 井上 松久 北里大学 副学長
- 大野 泰雄 国立医薬品食品衛生研究所 副所長
- 尾崎 博 東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授
- 加藤 保博 財団法人 残留農薬研究所 理事
- 斉藤 貢一 星薬科大学 薬品分析化学教室 准教授
- 佐々木 久美子 元国立医薬品食品衛生研究所 第一室長
- 志賀 正和 元独立行政法人 農業技術研究機構 中央農業総合研究センター 虫害防除部長
- 豊田 正武 実践女子大学 生活科学部 生活基礎化学研究室 教授
- 松田 りえ子 国立医薬品食品衛生研究所 食品部長
- 山内 明子 日本生活協同組合連合会 組織推進本部 本部長
- 山添 康 東北大学 大学院薬学研究科 医療薬学講座薬物動態学分野 教授

吉池 信男 公立大学法人 青森県立保健大学 健康科学部 栄養学科長  
由田 克士 独立行政法人 国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラム  
プログラムリーダー  
鰐淵 英機 大阪市立大学 大学院医学研究科 都市環境病理学 教授  
(○：部会長)